

浅水 地域づくり 計画書Ⅱ

対象期間(5ヶ年計画)
平成31年度 ~ 平成35年度



長谷山からの北上川と浅水風景

(北上川が大きく蛇行したところが浅水)

**安心して暮らせる
元気なふるさとづくり！**

浅水コミュニティ運営協議会
(浅水ふれあいセンター)

目次

		ページ
目次	浅水コミュニティ 三大事業	1
第1章	浅水地域づくり計画の背景と目的	2 ～ 7
第2章	浅水地域づくり活動の特徴 登米市地域づくり計画への取り組みと活動経過	8 ～ 9
第3章	浅水『地域づくり計画Ⅰ』活動報告	10 ～ 20
第4章	浅水『地域づくり計画Ⅱ』委員と活動期間	21
第5章	浅水『地域づくり計画Ⅱ』	22 ～ 29
第6章	これからも継続する事業	30 ～ 33
第7章	まとめ	34

浅水コミュニティ 三大事業（既存事業）



ふれあい運動会



ふれあい夏まつり



コミュニティまつり

第1章 浅水 地域づくり計画の背景と目的

1.地域づくり計画策定の背景

平成17年4月の9町合併により登米市となりましたが、地域づくりが同じ基準で出来なくなり、住民参加型による地域づくりが必要となりました。地域づくりを行う為に、登米市は平成24年4月「登米市まちづくり基本条例」を制定いたしました。

今、地域では、少子・高齢化・人口減少など様々な課題を抱えており、その解決に向けて、「地域のことは地域で考え、地域自らの責任によって決める」という考え方を基本として地域づくりを進める事になっております。

私たち浅水地域は昭和46年に旧自治省が進めた『モデルコミュニティ』を全国で16番目に指定を受け、宮城県では1番目に指定されました。以降、コミュニティを基本とした地域活動を行っておりますが、「地域づくり」も進んで取組み浅水地域の課題や目標を明確にして、地域の特性を活かしながら、地域を愛し、心豊かに暮らせる地域を目指し『浅水地域づくり計画』を策定し活動を行います。

2.地域づくり計画策定の目的

地域住民一人ひとりが、地域の現状と課題を認識し、地域で出来る事は地域で取組み課題解決をしながら、『安心して暮らせる 元気なふるさとづくり！』を行います。

3.地域づくり計画策定の期間

本資料

①これまでの『浅水地域づくり計画Ⅰ』

平成26年度から平成30年度までの5年間 活動成果の報告

②これからの『浅水地域づくり計画Ⅱ』

平成31年度から平成35年度までの5年間 活動計画を説明

4.地域づくり計画策定の活動と経緯

この計画作成は「浅水コミュニティ運営協議会」が主体で行いました。

平成23年 12月 10年後の地域課題アンケート実施

平成25年 1月 「地域づくり計画策定」を目的に全世帯10歳以上を対象
10年後の課題についてアンケート実施(総人口2,577名中1,507名
58%が回答)

平成25年 9月 先進地視察研修(新潟県柏崎市)

平成25年 11月 ワークショップを各行政区選出委員とコミュニティ運営協議会
委員等により行い、課題抽出と地域で行うことを決定し、計画
策定を総務部(行政区区長)や行政区選任の委員で実施

平成26年 2月 『浅水地域づくり計画Ⅰ』策定

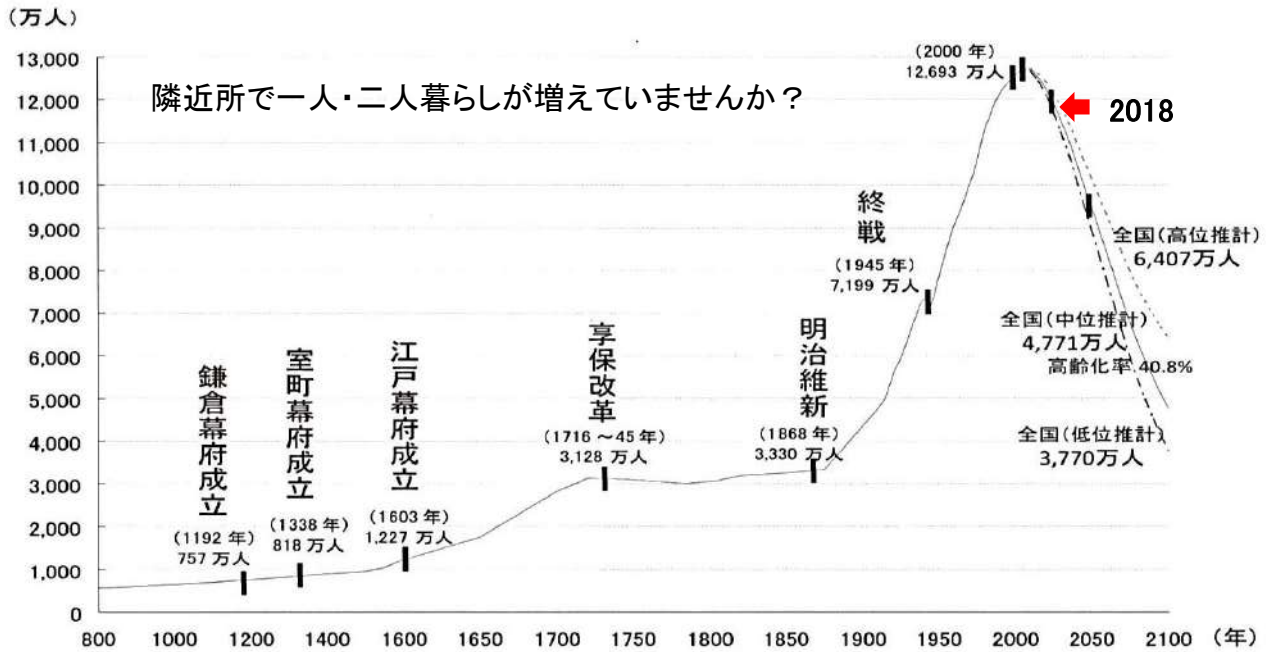
平成26年度～平成30年度 『浅水地域づくり計画Ⅰ』の活動を実施中

平成31年 2月 『浅水地域づくり計画Ⅱ』策定

平成31年度～平成35年度 活動期間 これからの活動

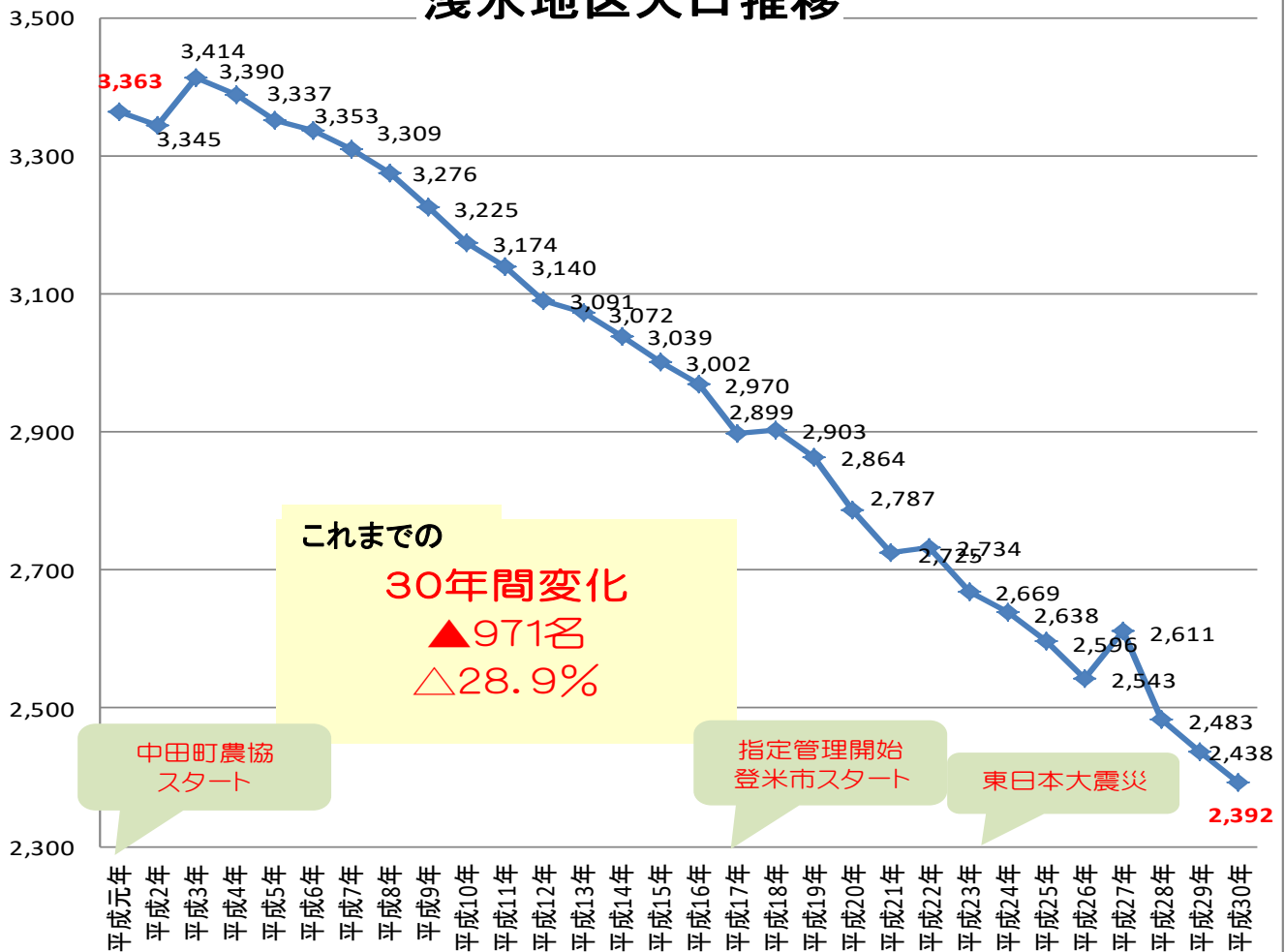
日本と浅水の人口推移

厳しさを増す日本社会(人口の長期的推移)



(出典)総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、同「平成12年及び17年国勢調査結果による補間推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成12月推計)」、国土庁「日本列島における人口分布変動の長期的系列分析(1974年)をもとに、国土交通省国土計画局作成。

浅水地区人口推移



浅水の世帯構成推移と人口推移予測

中田町浅水地区

世帯構成の推移とこれから

※区政調査データ 舟場区、萩風園等施設人員含み

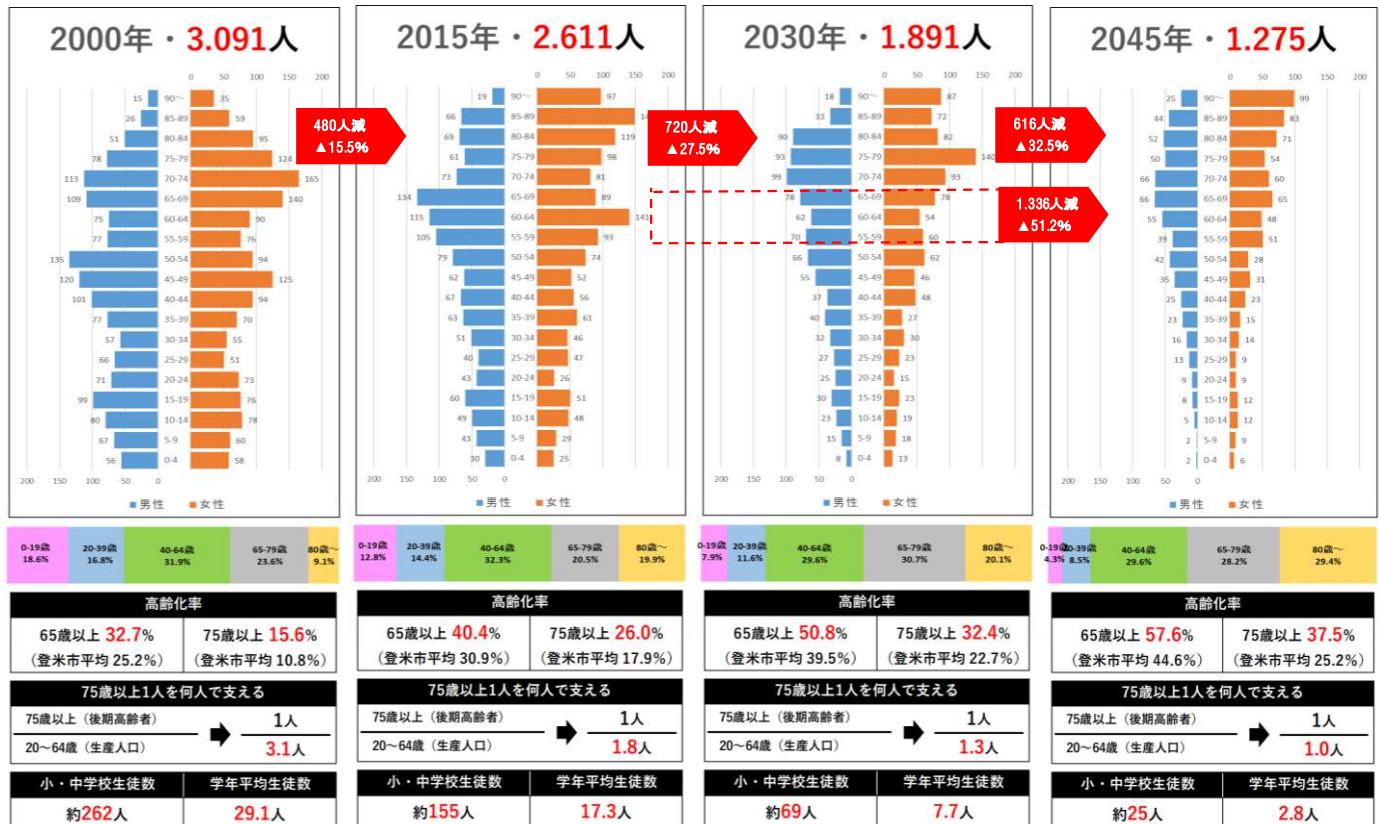
中田町浅水地区		2000年	2005年	2010年	2015年	これからは？
人口		3,091	2,899	2,734	2,611	今後は更に大幅な減少傾向
総世帯数		694	695	689	692	単身世帯がまだ微増傾向
世帯の平均人数		4.5	4.2	4.0	3.8	2035年頃には2人台に
18歳未満	同居世帯数	274	234	197	173	少子化により更に減少傾向
	総世帯数比	39.5%	33.7%	28.6%	25.0%	
三世帯	同居世帯数	374	330	277	224	少子化と核家族化が進み更に減少傾向
	総世帯数比	53.9%	47.5%	40.2%	32.4%	
65歳以上	独り世帯数	40	46	44	55	2035年頃をピークに大幅増加傾向 ※長寿化により特に女性の独り世帯と高齢者のみの親子世帯が増加
	夫婦世帯数	43	44	57	60	
	親子等世帯数	(データ無)	9	11	13	
	世帯数計	83	99	112	128	
	総世帯数比	12.0%	14.2%	16.3%	18.5%	

【データ】2000年～2015年は国勢調査値 ※他、国立社会保障・人口問題研究所の推計等による

作成：とめ市民活動プラザ

中田町浅水地区 人口の推移&予測

これまでの15年と、これからの15年、30年は違ってきます！
人口減少は避けられない現実・・・
地域に大きな影響を及ぼすのは人口構成の変化！

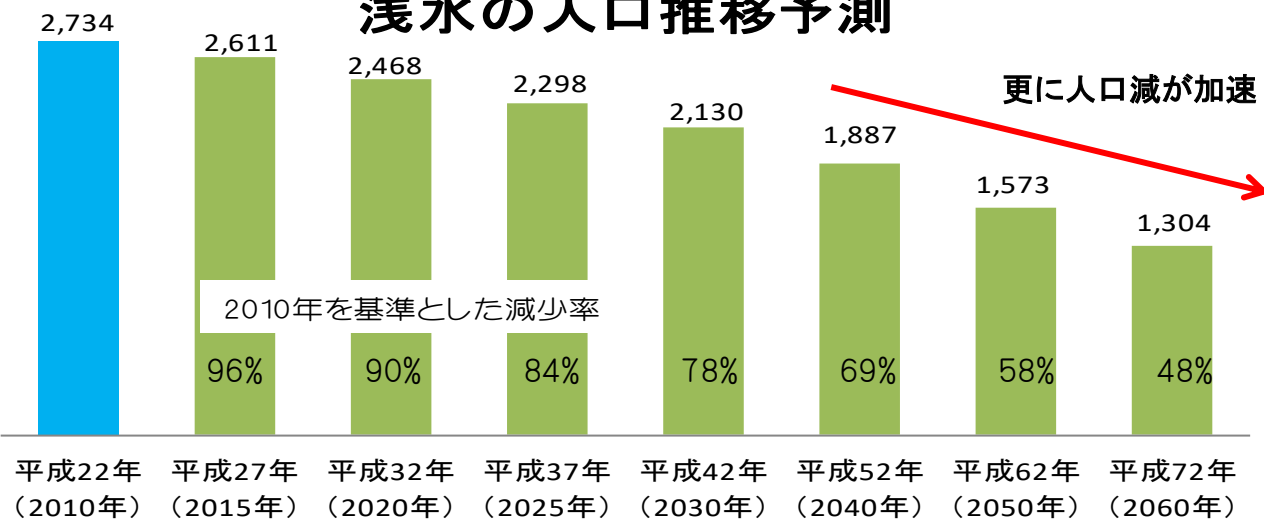


【データ】2000年・2015年は国勢調査値 2030年・2045年はIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] の推計式による ※過去の浅水地区人口推移平均値を基準

作成：とめ市民活動プラザ

第1章 浅水地域づくり計画の背景と目的

浅水の人口推移予測



平成22年、27年は国勢調査値、平成32年以降は国立社会保障・人口問題研究所の推計値を基に計算

登米市 コミュニティ組織別 高齢化率

データ:2015年(平成27年)国勢調査

コミュニティ組織	人口			65歳以上			75歳以上			85歳以上			0~14歳		15~64歳		平均年齢
	計	男性	女性	人口	高齢化率	順位	人口	高齢化率	順位	人口	高齢化率	順位	人口	構成率	人口	構成率	
佐沼	11,954	5,860	6,094	2,683	22.4%	19	1,389	11.6%	19	355	3.0%	19	1,719	14.4%	7,415	62.0%	43.9歳
新田	3,616	1,734	1,882	1,351	37.4%	3	807	22.3%	4	281	7.8%	3	347	9.6%	1,917	53.0%	53.7歳
北方	4,033	1,948	2,085	1,239	30.7%	14	709	17.6%	15	249	6.2%	12	468	11.6%	2,318	57.5%	50.1歳
森	1,453	716	737	443	30.5%	15	261	18.0%	13	88	6.1%	13	154	10.6%	854	58.8%	51.1歳
登米	4,788	2,284	2,504	1,753	36.6%	4	1,078	22.5%	3	394	8.2%	2	481	10.0%	2,553	53.3%	52.7歳
米川	2,418	1,191	1,227	946	39.1%	2	556	23.0%	2	177	7.3%	7	177	7.3%	1,295	53.6%	55.7歳
錦織	1,601	799	802	571	35.7%	5	354	22.1%	5	124	7.7%	4	140	8.7%	884	55.2%	53.8歳
米谷	2,538	1,230	1,308	858	33.8%	8	510	20.1%	8	194	7.6%	5	288	11.3%	1,390	54.8%	51.9歳
石森	6,683	3,248	3,435	1,566	23.4%	18	842	12.6%	18	317	4.7%	18	1,048	15.7%	4,049	60.6%	45.2歳
宝江	2,880	1,427	1,453	909	31.6%	12	526	18.3%	12	183	6.4%	10	309	10.7%	1,655	57.5%	50.9歳
上沼	3,547	1,699	1,848	1,156	32.6%	10	657	18.5%	11	246	6.9%	9	402	11.3%	1,988	56.0%	50.9歳
浅水	2,611	1,229	1,382	1,055	40.4%	1	678	26.0%	1	331	12.7%	1	224	8.6%	1,332	51.0%	55.6歳
豊里	6,704	3,291	3,413	1,997	29.8%	17	1,190	17.8%	14	378	5.6%	15	850	12.7%	3,844	57.3%	48.8歳
吉田	3,385	1,639	1,746	1,169	34.5%	7	689	20.4%	7	239	7.1%	8	385	11.4%	1,816	53.6%	51.2歳
西野	2,312	1,137	1,175	718	31.1%	13	387	16.7%	17	138	6.0%	14	301	13.0%	1,287	55.7%	49.6歳
中津山	3,598	1,773	1,825	1,167	32.4%	11	695	19.3%	10	194	5.4%	17	407	11.3%	2,024	56.3%	50.9歳
石越	5,100	2,486	2,614	1,717	33.7%	9	998	19.6%	9	315	6.2%	11	514	10.1%	2,859	56.1%	51.4歳
南方*	9,064	4,384	4,680	2,729	30.1%	16	1,559	17.2%	16	505	5.6%	16	1,123	12.4%	5,193	57.3%	48.5歳
津山	3,674	1,762	1,912	1,288	35.1%	6	770	21.0%	6	276	7.5%	6	389	10.6%	1,995	54.3%	52.4歳
登米市	81,959	39,837	42,122	25,315	30.9%	/	14,655	17.9%	/	4,984	6.1%	/	9,726	11.9%	46,668	56.9%	49.9歳

※南方は国勢調査データ混合のため町域にて計算

作成:とめ市民活動プラザ

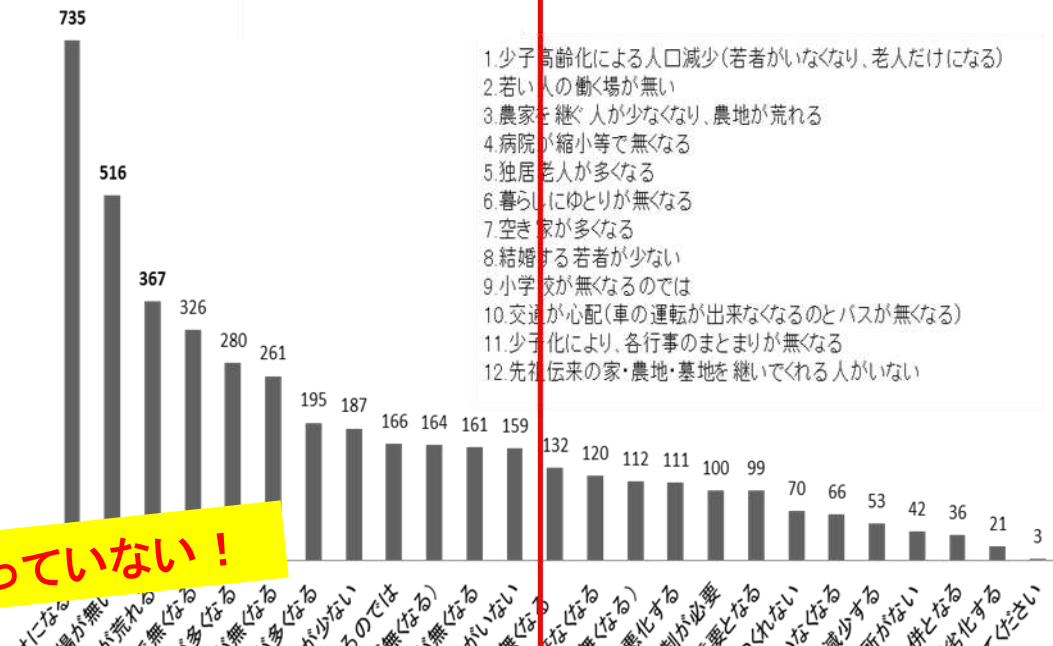
高齢化率は1位 浅水 ・2位 米川

浅水地区の10年後の課題 (H25年調査)

浅水地区 10年後の課題

(H30年確認)

5年前と変わっていない!



- 735 少子高齢化による人口減少(若者がいなくなり、老人だけになる)
- 516 若い人の働く場が無い
- 367 農家を継ぐ人が少なくなり、農地が荒れる
- 326 病院が縮小等で無くなる
- 280 独居老人が多くなる
- 261 暮らしにゆとりが無くなる
- 195 空き家が多くなる
- 187 結婚する若者が少ない
- 166 小学校が無くなるのでは
- 164 交通が心配(車の運転が出来なくなるのとバスが無くなる)
- 161 少子化により、各行事のまとまりが無くなる
- 159 先祖伝来の家・農地・墓地を継いでくれる人がいない

- 132 地域の商店が無くなる
- 120 集落の道路や水路等の草刈りが出来なくなる
- 112 近所付き合いが心配(コミュニケーションが無くなる)
- 111 介護の環境が悪化する
- 100 安心安全の地域防災体制が必要
- 99 自然エネルギーが重要となる
- 70 自分で食事につくれない
- 66 民俗芸能の後継者がいなくなる
- 53 消防団員が減少する
- 42 老人のつどう場所がない
- 36 集落が合併となる
- 21 集会所等の施設が劣化する
- 3 その他お気づきの課題を記入してください

第2章 浅水地域づくり計画の特徴 登米市地域づくり計画への取り組みと活動経過

10年後の課題アンケートとワークショップからの**地域で取り組む事項**

No	項目	地域で 取り組む	住民アンケート ベスト12項目の対応			
			①	②	③	④
1	少子高齢化による人口減少(若者(減少)になる)	○		①	③	④
2	若い人の働く場が無い					
3	農家を継ぐ人が少なくなり、農地が荒れる	○		②		
4	病院が縮小等で無くなる					
5	独居老人が多くなる	○		②	③	④
6	暮らしにゆとりが無くなる					
7	空き家が多くなる、地域の環境荒れる	○		②		
8	結婚する若者が少ない	○		②		
9	小学校が無くなるのでは					
10	交通が心配(車の運転が出来なくなるのとバスが無くなる)	○		②		
11	少子化により、各行事のまとまりが無くなる	○		②		
12	先祖伝来の家・農地・墓地を継いでくれる人がいない	○		②		

自分達ができる事!

『浅水地域づくり計画Ⅰ』からの環境変化を基に『浅水地域づくり計画Ⅱ』では、部会名称を『一人暮らし対応部会』を『生活支援部会』と名称を変更し、活動を行なうこととします。

背景

- ・登米市コミュニティ別高齢化率では**1位が浅水地域**、2位が米川地域と、登米市でも高齢化率のワースト1位となりました。これにより、浅水地域では生活する上で困るであろう、ことが今後、他の地域より多く出てくる事が予測されます。
- ・団塊の世代の人が75歳以上となる2025年に向けて、高齢になっても住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができるよう、医療・介護・住まい・生活支援・介護予防が包括的に提供される「**地域包括ケアシステム**」の構築を目指して、**社会福祉協議会**や**民生児童委員**と地域で出来る事を進めておりますが、**浅水は地域全体での活動として地域づくり『生活支援部会』**として取り組みを行います。

この部会の委員は、『民生・児童委員』が活動する上で登米市より住民情報提供が無くなったことや、民生・児童委員不在の行政区には行き届かない等の課題もあることから、浅水地域では地域住民との情報共有等により、孤独死防止や外出困難者等の**生活支援活動**を『**民生・児童委員**』や『**社会福祉協議会**』と連携して進めてまいります。更に、**子育て支援対応(幼児・若いママ・おばあちゃん等を対象に保育に関する)**を行うことでの、**子育て支援**を行います。

尚、生活支援部会の委員は『民生・児童委員』とし、行政区で民生児童委員の居ないところは委員を選出して頂き、地域の生活支援活動を行います。

浅水の地域づくり活動の特徴

社会教育・地域づくり活動を地域住民への広報活動をホームページ活用して周知を図っている。

- ・開始 平成26年10月10日 ~ 継続中
- ・目的
 - ・スマートホン等の普及により手軽に情報が入手しやすい環境となることや、地域の情報や防災情報等を地域住民に伝え、地域づくり・社会教育に活用する。
 - ・地域づくりの中で取り組む課題で「放置された空き家」を無くす活動に活用、浅水に住む人を募集し、人口減少・世帯減少の対応を行う。

・見る方法 ★①.アドレス入力
<http://hureaicenter.web.fc2.com/>

★②.名称を入力
 浅水ふれあいセンター 又は
 浅水コミュニティ運営協議会

・常に最新の状態を目指して更新
 その都度 年間事業計画表・ふれあいだより
 毎月 集落支援員活動報告(地域づくり活動報告)

ウェブ検索結果

登米市/浅水ふれあいセンター

http://www.city.tome.miyagi.jp/map/map-shougai/sho_016.html

所在地: 987-0611 中田町浅水字光神堂150番地2 電話番号: 0220-34-2008 開館時間: 午前9時~午後10時 休館日: 毎週月曜日 ※月曜日が祝日の場合は浅水ふれあいセンターのホームページ...

浅水ふれあいセンター/浅水コミュニティ運営協議会

<http://hureaicenter.web.fc2.com/>

このホームページは、浅水地区の活性化に寄与すること、活動内容を周知することを目的で制作いたしました。深田地区の...

こちら!

地域のことや事業・地域活動の全てが見れます!

浅水ふれあいセンター事業指標 ①

ふれあいセンターは、安心して暮らせる 元気なふるさとづくり! を目標に活動します。

登米市 浅水ふれあいセンター

浅水コミュニティ運営協議会

センターの紹介 | センターの事業 | センターの施設 | 利用案内 | アクセス

浅水地域づくり計画 | 浅水ふれあいセンター | 浅水地域づくり計画書

センターの活動紹介
 浅水ふれあいセンターは、宮城県登米市中田町浅水地区にあります。浅水ふれあいセンターは、公民館と同等の社会教育施設です。

年報事業計画表
 管理運営は、登米市より指定管理者として「浅水コミュニティ運営協議会」が指定され自主運営、自主運営を行っており、9年が経過いたしました。

浅水地域の防災情報
 浅水地区は宮城県の北部に位置し北上川が大きく流れている川沿いの地域で、9行政区、世帯数が717世帯・人口は2,577名で、地域の文化財や歴史遺産が多く、今でも継承されており、地域の特色としては、北上川の水と豊れた土地により、美味しい米作産(天童産下への社上米)であります。又、浅水地区は旧自治体からデトリロコミュニティ地区として全国で16団体に、宮城県では第1号として昭和46年に指定を受け、現在もコミュニティ活動が活発に行われている地域です。

防火マップ
 土砂災害危険場所
 空家情報
 お問い合わせ

浅水ふれあいセンターの概要
 (浅水コミュニティ運営協議会)

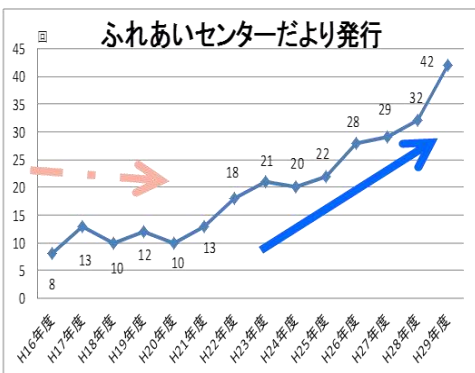
1. 人口 2,535人
2. 世帯数 726世帯
3. 行政区数 9行政区
4. 運営協議会の概要
 - ①執行部 22人(会長、副会長2人、委員19人)
 - ②部会数 16部会(委員45人)
 - ③監事 2人
 - ④事務局 3人(センター長、事務局2人)

施設の管理運営状況

実績対応

- ①開館日数 359日
- ②開館時間 9:00~2:00
- ③休館日 年末年始
- ④職員配置 専業主婦(6名)・日曜日・月曜日 祝日が休み

浅水ふれあいセンター事業指標 ②

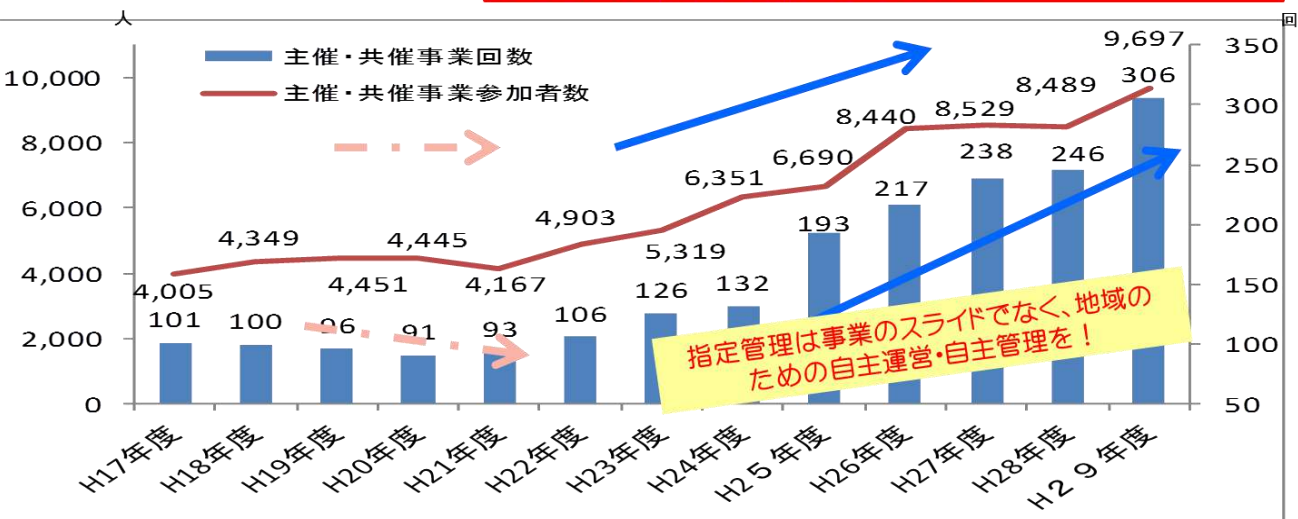


登米市教育委員会 職員の指導で指定管理後の事業をスタートしたが、地域のための自主運営・自主管理を基本として、平成22年度から年間を通して事業を行うことや事業に工夫を加えて、多くの地域住民が参加できる事業内容に変えました。

その結果、地域住民が参加することで、楽かった、良かった、次も参加したい等の口コミにより参加者の増加へ繋がっております。

更に、平成26年度からは地域づくり計画の追加『安心して暮らせる 元気なふるさとづくり!』を目標に活動を開始したことで事業数や参加人数が更に増加しております。

※事業は毎年同じでは無く、反省会や新しい企画・工夫等を行い、次回も参加したいと思って頂く!、その為には、参した人が楽しいと感じて頂くこと!



登米市地域づくり事業への取組・活動経過

★平成22年から取組を行った事で地域づくりの移行が容易にできた！

登米市協働のまちづくり交付金事業 町域枠100万円/年に申請し
審査により交付！ を活用して活動を行ってきた。H22～H26

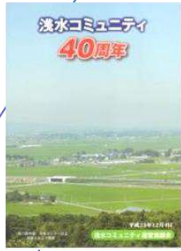
登米市がんばる地域づくり
応援交付金事業へ申請

1st

2nd

平成25年

②地域づくり計画策定
・10年後の課題を10歳以上を対象に
住民アンケートとワークショップを行い、
6年計画を策定



平成23年

・ミニテ40周年記念式典
と記念誌発行
・井戸端会議(KJ法)を開催
し10年後の課題を抽出

平成22年
こいのぼり掲揚
支柱建設



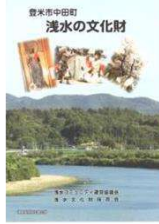
全行政区掲示板新規製作

平成24年

・地域の文化財を後世に伝える標柱
立替えと冊子発行
・地域 防災連絡協議会を立ち上げ
隔月に定期会議を開催、課題と解決
を協議
・中田地区防犯協会浅水支部を立ち上げ
行政区区長が月2回以上、市の文書
配布時に全戸をまわり、異常が無い
かを確認・記録し異常あれば中田
交番へ相談している。



文化財パネル展



標柱 修正前



標柱 修正後



他の地域も、こうした所
から始めている。



H25-②

平成26年

① 花壇撤去し運動公園化
・高齢化対応で「ラウト」ゴルフ場を作った。

H26-② 花壇を撤去・整地・
芝生の植付け・除草を地域住民
の奉仕作業で行う。



4年前から活動

登米市がんばる地域づくり
応援交付金事業へ申請

地域住民の命と暮らしを守る活動

地域活性化活動

平成27年

①地域づくり 2nd
・地域づくりの「D」エリア部会活動開始
1.集う環境整備部会
地域環境整備・ルネイ普及・老人
会活性化支援・そば打ち出前講座等
2.人口減少対応部会
放置された空き家を無くす活動
空き家の調査・一人二人世帯意識調査
ホーム・Dの更新(地域づくり活動報告)
住む人を紹介・相談窓口開設
3.健康長寿部会
健康長寿講座開催15回・地域優先
仕事あっせん・Dイ支援
4.一人暮らし対応部会
見守り巡視3回/月・福祉車両送迎対応
家から出れない人への支援
②集落支援員 1名増



平成28年 使われない施設
「登米市サイルセター」を市より借用



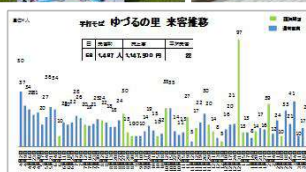
『ふれあい広場あけぼの』へ改築
①手打そば ゆづるの里
②コミュニティカフェあけぼの



※ 部会活動は継続活動

平成29年 コミュニティ祭

①手打そば ゆづるの里 4月営業開始
1年間1,500名



②歌声喫茶 開始



③上から見た地域



※ 部会活動は継続活動中

平成30年 コミュニティ祭

①手打そば ゆづるの里 TBCのワッチ!
みやぎで放送



②地域づくり計画Ⅱ策定 2nd
2019～2023

③地域おこし協力隊導入

④公用車 1台増



⑤農村公園 トイレ洋式化・ワカレット化



第3章 浅水『地域づくり計画 I』活動報告

『集う環境整備部会』活動報告 (旧 第1部会)

目的 高齢者や若者が集い・楽しめる環境整備

内 容	事 業	計画 ○ 実施 ◎ 未実施×				
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
集う環境整備 部会	①. 高齢者・若者が集い・楽しめる、環境整備事業					
	・ふれあい広場 あげぼの活用 (空き室活用)		○→◎	○→◎	○→◎	○→◎
	・手打そば ゆづるの里 (空き室活用)	看板製作	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎
	・コミュニティカフェ あげぼの(集いの場)開設			→◎	→◎	→◎
	・倉庫 シートハウス 建設		→◎	→◎	→◎	→◎
	・地域ぐるみの環境整備 北上が堤防/筒高泡立草	→◎	→◎	→◎	→◎	→◎
	・ふれぜん周辺の環境整備 農村公園/周辺	→◎	→◎	→◎	→◎	→◎
	・グラウンドゴルフ練習場 (農村公園活用)	→◎	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎
	・ノルディックウォーク健康 (サイクルロード活用)			→◎	→◎	→◎
・老人会への支援 全ての行政区老人会組織化/助成金申請		○→◎	○→◎	○→◎	○→◎	

1. ふれあいセンター周辺・農村公園の環境整備

① 農村公園の整備

- ・ H26. 農村公園の花壇を撤去し、芝生を植え グランドゴルフ場へ
現在では小島絆の会をはじめ地域の方々々が毎日練習を行うようになり、成果として登米市の大会で優勝するほどに。
- ・ H27. ふれあいセンター前花壇の整備
季節により植替え、いつでも花のあるふれあいセンターに
- ・ H27. 農村公園東側・南側に芝桜花壇を制作
耕耘・整地・防草シートを張り、芝桜の苗木320本を委員で植栽。
春には一面鮮やかなピンク色に。
- ・ H27. 農村公園駐車場周辺にキバナコスモス花壇を制作
耕耘・土入れ・テストピースを並べ播種床づくり、種まき・水かけ間引き作業を行った。

地域の方々・地域企業の支援

- 1) 小野寺興業さんより床土用の残土を無償で搬入
- 2) 地域の方々からユンボ・ローダー・管理機等を提供
- 3) 迫生コンさんよりテストピースを提供

② 農村公園芝生の管理

地域の方々があくつろいだり、グランドゴルフ等を楽しめる場所の管理につとめました。
芝生刈取り作業 年 4回実施 / 除草剤散布 年2回 実施
いつもグランドゴルフの練習を行っている六十寿会の皆さんに芝生の刈取りをボランティアで行っていただいている。

遊具の撤去

地域の老人会のグランドゴルフ利用頻度が増えたため公園内にあった遊具を撤去。(利用者からの要望により)

③ 全国的に繁茂しているセイタカアワダチソウ駆除対策の依頼

新田区の効果的な駆除対策を参考に、各行政区 農地・水・環境保全組織に駆除への取組みをお願いした。

④ 北上川土手・サイクリングロードの清掃作業・除草作業

- 委員・地域の皆さんの協力をいただきながら27年度より毎年実施。
- ・ノルディックウォーキング等でいつも利用しているサイクリングロード両側の草刈。
地域の方々より草刈り機・トラックを提供
- ・北上川土手の清掃活動は当初委員で行っていたが29年度より地域に呼びかけボランティアを募り実施。

2. ノルディックウォーキング普及活動

目的: ノルディックウォーキングの普及を促進し浅水の健康づくりにつなげる

ノルディックのポールをふれあいセンターで購入常備
毎週土曜練習会開催 / インストラクターを呼んでの講習会の開催

3. 老人会支援

目的: 地域の高齢者が集うことにより、仲間づくり・コミュニケーションをとおし、生きがいづくり・健康づくり・孤立防止につなげる。

① 老人会の再組織化

- H27. 解散してそのままだった2行政区の老人会を再組織化
- H28. 前年度3月に解散した組織にすぐに働きかけ、新たなメンバーで再組織化をいたしました。
現在3行政区が未組織化、継続して組織化を促していきます。

② 補助金申請・開催行事の支援

老人会の事務処理業務の補助、補助金申請書類作成・申請手続きや総会資料作成・総会開催補助等を支援しました。

③ シニアグランドゴルフ大会 27年度より毎年開催

地域の高齢者の健康増進と親睦を目的として開催し、老人会組織の有無にかかわらず、各行政区60歳以上の方を対象に募集し個人戦で開催しました。
競技終了後は芋煮会を行い親睦を深めました。
大好評により毎年継続して開催中!

・ 毎日のように集い、練習会を開催するようになり、各組織の活性化につながっています。



センター前に季節の花を

芝桜を委員で植栽



色鮮やかなピンク色(翌年の春)

キバナコスモス花壇の耕耘



テストピース・土入れ

委員で間引き作業



農村公園駐車場周辺をキバナコスモス花壇に



小島絆の会・新小路六十寿会の皆さんが芝生の刈り取り

北上川土手の清掃活動

多岐の作業に協力をお願いしました。

「あつた」の皆さんが協力してくれました。

「あつた」の皆さんが協力してくれました。

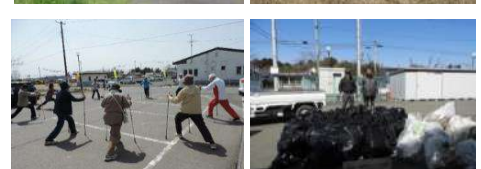
「あつた」の皆さんが協力してくれました。

「あつた」の皆さんが協力してくれました。



サイクリングロード両側をモーターで除草作業

北上川土手清掃 地域の方43名が参加



ノルディックウォーク講習会

集められた大量のゴミ



再組織化した小島「絆の会」

シニアグランドゴルフ大会



今年は過去最高70名が参加

今年から練習を開始した行政区も

米 実績報告書は沼倉事務員が作成しました

④カラオケ大会を開催

それまで外部から特別ゲスト・講師を呼んでいた「浅水六十寿会の新春のつどい」をカラオケ大会に変更し、毎年開催。審査はカラオケ機の採点機能で上位3名を表彰。

⑤各行政区の老人会の活動をセンターだよりで紹介

球技大会・総会・ゴルフ大会・カラオケ大会等取材し掲載

⑥用具を購入し貸出サービス実施

ロコモ先生・ビーンボウリング・スカットボール・室内用ベタンク・カラオケ・バレリード・ターゲットゲーム・コロコロサイコロ等

老人会の活性化へ貢献！



新春のつどい



名司会 須藤さん
さあ！何点だ！
頂きました

カラオケ大会



カラオケ大会



優勝めざし熱唱



委員のコンボで掘削



生コンならし地域づくり委員で作業

4. 高齢者・地域の方々が気軽に利用できる集いの場「ふれあい広場 あげぼの」を開設

コミュニティビジネス・コミュニティカフェ運営に向けて

H28. そば打ち室・カラオケ室の設置へ向け工事開始

① 物置ビニルハウスの建設

ふれあいセンターの大道具の倉庫となっていた、サイクルセンターを活用することに決定。そのため大道具の収納場所としてシートハウス倉庫を建設。※できることは自分たちで設置場所掘削作業、基礎づくり、生コン流し込み、足場パイプで棚制作、用具の搬出・搬入を

※地域の方々・企業の支援

- ・コンボ・トラクターの提供
- 土 2トンドンプ4台 旭洋設備さん・小野寺興業さんより無償提供・搬入
- ・砂 11トン 委員が交渉し迫生コンさんより無償提供・搬入
- ・砂 2トン 委員のダンプで無償搬入

② サイクルセンターの用具整理

委員による搬出・搬入作業

③ 施設の愛称名を地域へ募集

愛称を『ふれあい広場 あげぼの』に決定

④ 消防への申請・保健所への営業許可申請

⑤ 集いの場イメージイラストの作製・正面入り口の美創・改装

案内看板の美創・室内の改装
川面の秋山清人さんに依頼し、イメージイラストを描いてもらった。看板にプリントし、あげぼの正面に設置
室内の改装は和泉建業さん・空調/電気設備は山内システムさん
案内看板 三浦板金さん 正面塗装 飯田塗装さん



物置ハウス完成



秋山さんによるイラスト



コミュニティカフェ



生コン流し込み

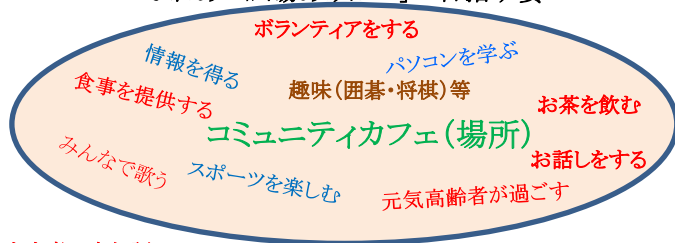


手打そば ゆづるの里



多目的スペース

「ふれあい広場あげぼの」の目指す姿



5. コミュニティビジネス・コミュニティカフェをスタート

① 手打そば ゆづるの里 営業開始

H29年4月2日営業スタート 毎週日曜日営業
そばのおいしさと浅水をPR
浅水の活性化と地域の方へ就業の場の提供

・そば打ちの実演とその場で打ちたての美味しいそばが食べれる。来客者に大好評。

地域外へ情報発信

地域の支援者によるフェイスブック・SNSを使った情報発信
河北新報・大崎タイムス・社協広報への掲載 はっとFM出演等
効果 関東・北陸からもゆづるファンが来店 (福島・岩手・秋田・栃木・福井・神奈川 etc)
地域の方の支援川面佐藤學さんによるコーヒーマイスターボランティアで活動

② そば打ち体験教室の開催

平成27年よりふれあいセンターそば打ち教室の受講者が講師となり体験教室を開催。
浅水に留まらず、市内各地より依頼が殺到！
自分で作ったそばをその場で食べられると好評
市内小中学校PTA行事・各コミュニティ組織・行政区ミニデイや高齢者支援施設・各町域社協等で開催

③ コミュニティカフェ

カラオケ機を『割烹くまがい』熊谷貞夫会長から寄贈いただいた。
カフェを会場に歌声喫茶・利き酒会を開催
つるし雛サークルが利用

6. 浅水活性化マップを作成(H.30)

浅水の伝統芸能・特産物をかわいイラストで紹介。 地域の外へ発信！！



委員のアイデアで顔出し
パネルを作成



H29.4月2日
手打そばゆづるの里オープン

手打そば ゆづるの里
開店から2年 延べ営業131日
2,700人が来店(3月3日現在)

第1期5ヶ年 活動日数 506日
延べ参加人数 5,676人
内委員会17回 213名が参加



そば打ち教室で指導！失敗しないので！



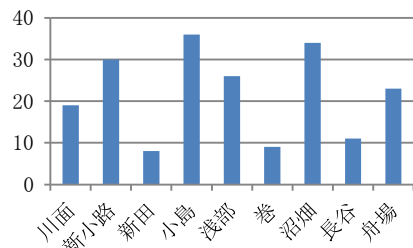
『人口減少対応部会』 活動報告 (旧 第2部会)

目的 『空き家の適正管理(放置された空き家をなくす)により地域の荒廃防止・人口増加につなげる』

計画 ○ 実施 ◎ 未実施×

内 容	事 業	年度				
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人口減少対応 部会	②.人口(世帯)減少対応事業					
	・独居・老々世帯の意識調査と空き家調査	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎
	・行政区単位調査活動 (独居世帯・空き家)	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎
	・意識調査と対応策 空家を増やさない・住む人紹介	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎
	・空き家の管理と適正管理化支援	→◎	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎
	・相続講座		→◎	→◎	→◎	→◎
	・ホームページの開設 (浅水の良さをPR)	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎
生活環境荒廃防止と 空き家活用し、人口減少対応	・婚活対応 支援対応			○→◎	○→◎	○→◎
	・若者が出ていかない/住みたくなる地域づくり		→◎	→◎	→◎	→◎

過去4年の減少数



1. 行政区別人口の推移

過去4年で194名の人口減 歯止めが効かない。

年度区分	浅水全体	川面	新小路	新田	小島	浅部	巻	沼畑	長谷	舟場
平成27年度	2,535	365	365	364	367	271	182	265	160	196
平成28年度	2,483	366	354	366	353	266	176	255	154	193
平成29年度	2,439	363	343	361	351	266	174	247	153	181
平成30年度	2,392	353	335	360	347	260	169	241	150	177
H. 31 1月末	2,341	346	335	356	331	245	173	231	149	173
過去4年の減少数	194	19	30	8	36	26	9	34	11	23
過去4年の減少率	7.7%	5.2%	8.2%	2.2%	9.8%	9.6%	4.9%	12.8%	6.9%	11.7%

2. 空き家の適正管理に向けた活動

①委員による空き家調査を実施

- ・空き家が増えて、適正な管理が行われないと地域の荒廃・景観の悪化につながる。
- ・火災・倒壊・犯罪の温床になる等防犯上の問題。
- ・動物の住家になる衛生上の問題。

このことから、各行政区の委員による地域の空き家調査を年1回行うこととした。

調査項目

管理者が明確で連絡がとれる場合

- ・現在の空き家をどうする予定か
- ・誰かに相談しているか(業者等)
- ・売却・賃貸を考えているか
- ・相続・仏壇・位牌・家具等の問題

管理者が把握できない場合

- ・建物の管理状況
- ・危険空き家基準適合判断



平成27年
空き家対策特別措置法施行

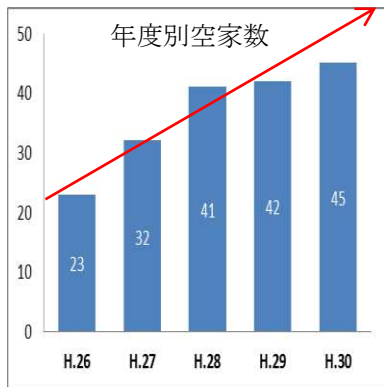
第3回 空き家の調査

毎年実施しているが、今年初めて調査結果を発表しました。調査の結果を把握し、対策を講じたいと考えています。昨年も実施したところ、今年調査したところ、調査結果を把握し、対策を講じたいと考えています。昨年も実施したところ、今年調査したところ、調査結果を把握し、対策を講じたいと考えています。

- 【調査結果】
- Q1 今調査対象の行政区はどの行政区ですか？
1.川面 2.新小路 3.新田 4.小島 5.浅部
6.巻 7.沼畑 8.長谷 9.舟場
- Q2 管理している人は明確になっていますか？
1.管理者がいる
2.管理者がいない
- Q3 既知の空き家かどうか分かりますか？
1.いずれも不明
2.いずれも分らないので確認したい(問4へ)
3.いずれも分らないので確認したい(問4へ)
4.いずれも分らないので確認したい(問4へ)
5.その他()
- Q4 既知の空き家かどうか分かりますか？(過去に調査されているか？)
1.浄化槽等が正常に稼働している。
2.動物の住みかにならないよう対策がとられている。
3.傾斜度が基準値以内である。
4.その他()
- Q5 既知の空き家かどうか分かりますか？(過去に調査されているか？)
1.浄化槽等が正常に稼働している。(問4へ)
2.動物の住みかにならないよう対策がとられている。
3.傾斜度が基準値以内である。
4.その他()
- Q6 既知の空き家かどうか分かりますか？(過去に調査されているか？)
1.浄化槽等が正常に稼働している。(問4へ)
2.動物の住みかにならないよう対策がとられている。
3.傾斜度が基準値以内である。
4.その他()

年度別空き家の推移

年度	浅水全体	川面	新小路	新田	小島	浅部	巻	沼畑	長谷	舟場
平成26年度	23	0	2	2	5	3	2	5	1	3
平成27年度	32	0	3	2	6	4	2	5	1	9
平成28年度	41	2	5	2	9	4	3	4	1	11
平成29年度	42	2	5	2	9	4	3	4	1	12
増	7	1	2	0	0	0	1	1	0	2
減	3	0	0	0	0	0	1	1	0	1
平成30年度	45	2	7	2	9	4	3	4	1	13



年々増加対策急務！！

H27年調査結果から
所有者不明の空き家1軒を危険空き家として登米市防災課へ申請。
市から所有者へ通知してもらった。
・位牌がある、相続問題等で進まない。

我々の活動により、H31.3.8都会から1世帯引越してきた。

空き家調査シート

行政区	管理状況	連絡	既知	既知	備考
川面	1	1	1	1	
新小路	1	1	1	1	
新田	1	1	1	1	
小島	1	1	1	1	
浅部	1	1	1	1	
巻	1	1	1	1	
沼畑	1	1	1	1	
長谷	1	1	1	1	
舟場	1	1	1	1	

調査した空き家をリスト化

行政区	ランク	1	2	3	4	5	6	7
A	A	各行政区管理状況ランク毎にリスト化						
	B	1軒						
	C	2軒						
B	A	1軒						
	B	1軒						
	C	1軒						
C	A	1軒						
	B	1軒						
	C	2軒						

② 相談窓口の開設（27年）

コミュニティ運営協議会会長とセンター長が相談を受け、宅建業者、土地・家屋アドバイザー等への相談の際、同行もする事とした。

③ 貸したい・売りたい方への手続きマニュアルの作成（H27年）

貸したい・売りたいという意思があっても、どうしたら良いかわからない方への対応策としてマニュアルを作成し、活用してもらうこととした。

④ 空き家管理状況ランク評価の実施（管理対象空き家の整理 H29年）

毎年の臆え取り調査から水道・光熱が使用され、物置等2次利用されている・頻繁に出入りがあり、管理がしっかりされている等の空き家については調査対象から除外することにした。10軒を対象外に。 そのうえで継続管理が必要なのか、対策が必要かの判断指針として空き家の管理・ランク状況調査を委員が3グループに分かれて行った。目視による外観の壁のひび割れ、雨漏り、腐朽等を確認

⑤ 人口増加につながる活動

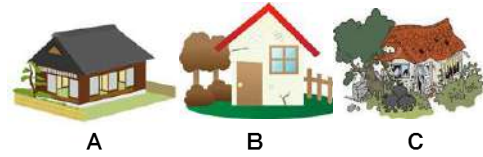
- ・H27年 委員の紹介で1軒賃貸成立
- ・H29年 空き家の紹介 3件 住む家を求めている 米谷・佐沼・石森の方3人に空き家を紹介・管理者との引き合わせを行った。が条件等が合わず成立には結びつかなかった。
- ・情報提供者 委員・米川まちおもい・ともまち登米
- ・H30年 1) 地域おこし協力隊が巻区の空き家に移住
2) 人口減少部会の活動を知った地域外のコミュニティ関係者から親類に空き家を紹介してほしいと依頼あり。持ち主との話し合いで契約成立

調査結果

ランク	説明	軒数
A	少ない費用で住める	3軒
B	費用は掛かるが住める	14軒
C	解体するしかない	14軒

調査の結果、少ない費用で住めるが3軒報告された。内1軒には関係者を通じ空き家バンクを紹介。

委員による管理状況調査



A 少ない費用で住める B 費用がかかるが住める C 解体するしかない

放置された空き家を無くす活動



空き家をジャズ喫茶へ改装

3. 一人・二人世帯への意識調査（アンケート調査の実施）

目的：放置された空き家にならない様に意識して頂く。

啓蒙活動も含み毎年実施

H30年度調査結果

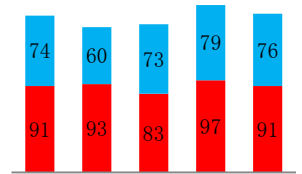
行政区	浅水全体	川面	新小路	新田	小島	浅部	巻	沼畑	長谷	舟場
世帯数	702	112	107	108	94	74	46	73	44	44
一人二人世帯	195	21	33	25	25	24	13	26	16	12
一人二人世帯比率	28%	19%	31%	23%	27%	32%	28%	36%	36%	27%
アンケート回答者	168	21	30	22	23	21	13	18	14	6
回答率	86%	100%	91%	88%	92%	88%	100%	69%	88%	50%

① アンケート項目別詳細データ

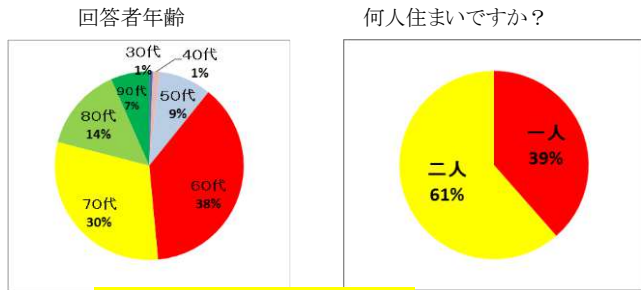
一人・二人世帯168人から回答をいただいた 回答率86%

住む人が決まっている
住む人が決まっていない

平成30年度	住む人が決まっている	住む人が決まっていない
	91	76



問1 あなたの年齢・世帯人数



回答者の89% が60歳以上

問2 地域づくり・人口減少対応部会『放置された空き家をつくらない活動』をご存知でしたか？

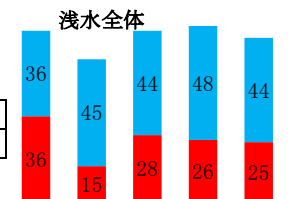
アンケート回答者 168人中 → 知っている 125人 (75%)
知らない 39人 (25%)

29年度の認知率 60% → 30年度の認知度 75%
毎年活動してきたことにより活動が理解され、地域の方から相談・情報提供もいただけるようになった。

問4 住む人が決まっていない方にお尋ねします。住む人を決めたいと思っていますか？

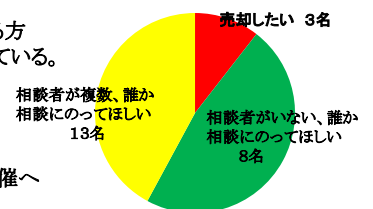
決めたいと思っている
決めたいと思っていない

平成30年度	決めたいと思っている	決めたいと思っていない
	25	44



問5 住む人を決めたいと思っっている方にお尋ねします。

住む人を決めたいと思っっている方 24名中21名が相談者を求めている。



年1回相続講座相談会の開催へ

問6 住む人が決まっていな方へお尋ねします。住む人を決められない理由はなんですか？

課題

面倒くさい	4
今のままで良いと思っている	35
相続等の問題がある	4
その他	11

地道な活動 を通し今後も意識改革を促していく。

- 例年様々な貴重なご意見もいただいております。
- ・息子が定年後帰ってくる予定だが雇用が延期になった。
 - ・これからのことはよく解らない。
 - ・兄弟達と相談してみる
 - ・子供達の仕事の都合で決められない。自分達の始末も含めて。
 - ・今のままで良いとは思わないが、維持管理困難で手放した時どんな暮らしを考えれば良いのか不安があり提案中
 - ・地域の方々とのつながりや庭先での野菜づくり等を楽しみながら、最期までこの家で暮らしたいと思っている。しかし、維持管理が難しくなってきた不安がある。子供達との先のことを話題にしているが、まだ具体的ないい方法はみつからない。
 - ・娘の今後の生活状況から決めかねる。
 - ・次男3男はすでに都会に家を持ち長男も退職まで単身赴任、現在の家も古いので先の事はどうなるかわからない。
 - ・住める内は私が住もうと思っている。この地域に将来息子たちが戻ってきてもなじめないと思う。不便、田舎の義理すび等等 元気な内に何とかしなくてはと常々、心にはあるがついつい先延 ばしにしてしまう。
 - ・維持するのが難しくなってきた。
 - ・できれば福祉事業所に寄附したい。
 - ・地域のために御苦労様です。
 - ・失礼にならない程度の調査なので構わない
 - ・地域全体の過疎化に歯止めを

アンケート結果は翌年の調査の時に対象者世帯へ配布して考えていただくようになっています。

第3回 一人世帯・二人世帯への意向調査

「空の家」に住む方への意向調査の結果、今後の調査や取り組みについてご意見を伺います。調査結果は、今後の調査や取り組みに活用させていただきます。

1. 空家の現状について (複数選択可)

2. 住む人が決まらな方にお聞きします。

3. 住む人が決まらな理由は何ですか？

4. 住む人が決まらな方にお聞きします。

5. 住む人が決まらな方にお聞きします。

6. 住む人が決まらな方にお聞きします。

7. 住む人が決まらな方にお聞きします。

8. 住む人が決まらな方にお聞きします。

9. 住む人が決まらな方にお聞きします。

10. 住む人が決まらな方にお聞きします。



地域の委員だから出来た！

4. 相続講座・相談会の開催

意向調査での要望から毎年1回開催。司法書士の先生を招き昔の相続と現在の相続の違い、相続の基本的なことから手続き等について講話をいただきました。また、個別相談会では代々から相続されず、複雑な相談も。

空き家・相続 相続基本講座の開催について

相続基本講座

日時 平成27年11月12日(木)午後13:00~15:00

開催場所 浅水ふれあいセンター

講師 教育司法書士事務所 教育 孝行 先生

参加費 無料(お弁当代別途)

お問い合わせ先 浅水コミュニティ運営協議会 地域づくり 人口減少対策部



相続基本講座

毎年の活動により地域の皆さんの理解も深まっています。

5. ホームページの開設と対応状況

- 地域づくり計画でホームページを作成
- ・開始 2014年 10月10日 ~
 - ・目的 スマートホン等の普及により手軽に情報が入手しやすい環境となることから、地域の情報や防災情報等を地域住民に伝え、地域づくりに活用する。
 - ・地域づくりの中で取り組む課題で「放置された空き家」を無くす活動を進めますが、ホームページを活用し浅水に住む人を募集し、人口減少・世帯減少の対応を行う。
 - ・見る方法
 - ★アドレスは次の通りです。 <http://hureaicenter.web.fc2.com/>
 - 検索エンジンは次の名称を入力することで見ることができます。
 - ① 浅水ふれあいセンター 又は
 - ② 浅水コミュニティ運営協議会どちらも可!
 - ・平成27年6月より地域づくり・集落支援員と地域づくりの 月次活動報告を追加 (毎月更新)

常に最新データへ更新している。

ウェブ検索結果

検索した画面

浅水市/浅水ふれあいセンター

http://www.city.tome.miyagi.jp/map/map-shougaishi_016.html

所在地: 987-0611 中田町浅水学完神室150番地2 | 電話番号: 0220-34-2008 | 開館時間: 午前9時~午後10時 | 休館日: 毎週月曜日 ※月曜日が祝日の場合は浅水ふれあいセンターのホームページ...

浅水ふれあいセンター/浅水コミュニティ運営協議会

<http://hureaicenter.web.fc2.com/>

このホームページは、浅水地区の活性化に寄与すること、活動内容を周知することを目的で制作いたしました。活性化の活動状況、活動結果、浅水地区の...

こちらよ!

ふれあいセンターは、安心して暮らせる 元気なふるさとづくりを目標に活動します。

登米市 浅水ふれあいセンター
浅水コミュニティ運営協議会

センターの紹介 | センターの事業 | センターの施設 | 利用案内 | アクセス

浅水ふれあいセンター

浅水ふれあいセンターは、宮城県登米市中央町浅水地区にあり、浅水地区の活性化に貢献することを目的として、浅水地区の自治体や関係機関と連携して運営されています。

浅水ふれあいセンターの概要 (浅水コミュニティ運営協議会)

1. 人口	2,535人
2. 世帯数	7,266世帯
3. 行財政	9行財政
4. 運営協議会の概要	2. 執行部: 2人 (会長、副会長2人、委員: 19人) 3. 常任委員会: 10名 (会長4名、委員6名) 4. 職員数: 2人 5. 事務局: 3人 (センター長、事務局2人)

施設の特長・運営状況

施設地区

- 1. 開設日数: 396日
- 2. 開設時間: 0:00~22:00
- 3. 休館日: 毎週月曜日
- 4. 職員数: (各職員) 1名、月曜日、月曜日、月曜日、月曜日
- 5. 職員が欠席: 1名、月曜日、月曜日、月曜日、月曜日

浅水ふれあいセンターの最新情報

平成27年11月4日	浅水ふれあいセンター集落支援員10名開催
平成27年9月17日	浅水ふれあいセンター集落支援員10名開催
平成27年9月10日	浅水ふれあいセンター集落支援員10名開催
平成27年9月3日	浅水ふれあいセンター集落支援員10名開催
平成27年8月27日	浅水ふれあいセンター集落支援員10名開催
平成27年8月20日	浅水ふれあいセンター集落支援員10名開催
平成27年8月13日	浅水ふれあいセンター集落支援員10名開催
平成27年8月6日	浅水ふれあいセンター集落支援員10名開催

お問い合わせ

浅水ふれあいセンター

6. 婚活支援対応

市内の婚活支援NPO法人ハピふるネットさんへ相談 アドバイザーの千葉礼子さん、伊藤多恵子さん婚活支援についてアドバイスをもらい、委員と相談した結果、後方支援という形から活動することとした。

イベントを企画しようと思ったが、...。ハピふるネットさんからのアドバイス

- ・地元での企画では地元の参加者が少ない。
- ・はずかしい(知っている人がいたらどうしよう等)。
- ・婚活は最終手段というマイナスイメージ。
- ・個人情報の問題。間違った解釈のセクハラの一人歩き。
- ・ハピふるネットさんでは本人・親の意識改革が必要とのこと。
- ・イベント(出合いの場)に参加する前にセミナーを開催してマナー・意識改革を促している。

ハピふるネット後方支援
地域内の適齢期の方へハピふるネットさんのイベントチラシ配布。
ふれあいセンターにポスターの掲示等

7. 地域おこし協力隊の募集活動

H29年度に向けて浅水に定住し、浅水の活性化に資する地域おこし協力隊の募集活動を行った。

- 1) ふれセンだよりにて募集周知(Uターン者向け)
- 2) 募集チラシを作成
- 3) 東京ビッグサイトにて地域おこし協力隊募集活動
・チラシを100名に配布 ・13名と個人面談
- 4) JA浅水支店にチラシ設置

H30年度 地域おこし協力隊が就任 定住し活動を開始

手打そば ゆづるの里
浅水米ブランド化を推進

8. 活動の成果

- ・地域住民より委員が空き家の相談を持ちかけられるようになった。
- ・地域外の方にも活動が知られ、空き家を求めている方と売買が成立。
- ・意向調査により住まなくなったときの対応を考えてもらえるようになった。
- ・不動産業者に依頼し、売りに出す方も出てきた。

第1期5ヶ年 活動日数97日 延べ900人が参加 内委員会 23回 298名が参加

『健康長寿部会』 活動報告 (旧 第3部会)

健康寿命県内ワーストの危機から脱却

目的 『寝たきりの長生きではなく、健康で長寿の地域を目指す』

計画 ○ 実施 ◎ 未実施×

内 容	事 業	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
健康長寿 部会	③.健康長寿対応事業					
	・健康づくり講座 2回/年	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎
健康長寿(寝たきりにならず長生き)対応・地域企業とのWin-Winな関係へ	・仕事の地域優先であっせん 随時	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎
	・若者への健康対応	→◎	→◎	→◎	○→◎	○→◎
	・健康長寿ポイント周知活動		→◎	→◎	○→◎	○→◎
	・ミティイ支援	→◎	→◎	→◎	○→◎	○→◎



老健リハビリ課職員による講座



老健丹先生による生活習慣病講話

口腔機能についての講話



寸劇を交えた認知症講座



市民課健康づくり係による講座

浅水の健診結果を抽出して対策を指導



男性の参加者も増えてきている

1. 健康長寿講座の開催

栄養士・自治体・NPO・地域企業との連携により様々な健康講座を開催

協力いただいた方々・団体

登米市健康づくり係 老健なかだ 登米市社会福祉協議会 登米市地域包括支援センター 登米市立豊里病院 NPO法人さくらんぼくらぶ 市民活動プラザ 栄養士 佐藤千賀子氏

- | | |
|--|--|
| H.26 『家庭でできるリハビリ』
『認知症にならないための健康づくり』 | H.29 『今日から実行できる健康講座』
『オーラルフレイルって何?』 |
| H.27 『減塩料理講座』
『脳血管疾患予防講座』
『みんなの食育アカデミー』
『生活習慣病について』
『認知症についての今の考え方』
『家庭でもできる介護技術』 | 『高齢者の食事について』
『感染症って何?』
『和食と健康』
『減塩料理講座』
『糖尿病の謎』
『今日から始めよう高血圧予防』 |
| H.28 『誰でもできる脳の活性化』
『肥満について』
『むせるって何だろう?』
『口腔機能について』
『認知症を学び地域で支えましょう』
『減塩料理づくり』
『生活習慣病を予防しよう』
『オーラル・フレイルって何?』 | H.30 『年をとっても動ける体づくり』
『低栄養/熱中症予防について』
『介護保険についてのお話し』
『寝たきりにならないための講話と運動』
『生活習慣病を予防しよう～特定健診結果から伝えたいこと』 |

5ヶ年で32回の健康講座を開催
延べ1,039人が参加

2. 仕事の地域優先でのあっせん

地域で仕事を探している方、介護のためにUターンを考えている方へ優先的に仕事をあっせん。

実績 H27年 2名 H29年 1名 H30年 1名

参加者の評価は◎

3. 若者への健康対応

目的:働き盛り世代は社会的な役割や負担が多く、ストレスや生活習慣の乱れにより生活習慣病を招きやすい時期である。自分の健康について考え、生活習慣を見直すための情報を提供の機会とする。

H26 アンケートの実施 (健康についての意識調査)

H27 アンケートの分析

H28 働き盛り世代の健康教室の開催 登米市との共催により毎年開催

①糖尿病や脳血管疾患の要因及び太りにくい食べ方について

講師 登米市 中支所 市民課 健康づくり係

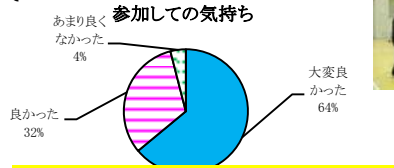
②家庭でできる太りにくい体づくり

講師 株)マルシンク 健康運動指導士 薄井 愛氏

わかっていても参加するまでが、...

体育部に協力をもらい、参加者を募っていただいた。

H30. 働き盛り世代の健康教室 参加者アンケート結果



清涼飲料水に含まれる砂糖の量をシュガーの本数で表示展示

健康づくり係りの皆さんの生活習慣病講話

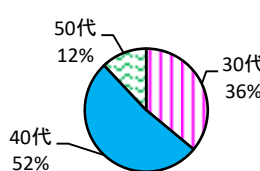


働き盛り世代の健康講座 薄井愛先生の講話と運動

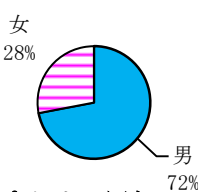


生活習慣病に対する知識習得と意識の向上につながっている。

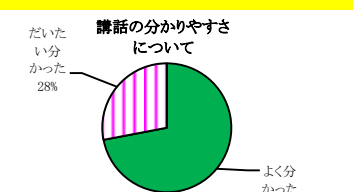
参加者の年代



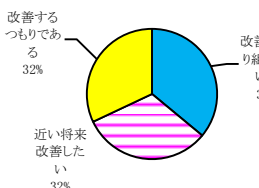
参加者の性別



参加者の9割が良かったと回答



生活習慣を改善してみたいか



4. ふれセンだよりにて健康長寿ポイントの周知

センターだよりにて毎号健康長寿ポイントを掲載

5. ミニデイ支援

目的:各行政区でミニデイを開催しているが、参加者が少ない・マンネリ化等支援者からの苦勞の声があり活動内容・工夫等を情報共有し、活動の活性化につなげる。

① ミニデイ支援者懇談会・講座等の開催

H27. オレンジカフェ(認知症カフェ)の設置

老健さんが県から委託されたモデル事業をふれあいセンターで開催

H27. なかだ いきいき 元気講座 3回開催

H28. 社会福祉協議会浅水地区福祉懇談会を開催

講話『一人ひとりが輝く地域づくり』

講師 生活地域支援オレンジネット 代表荒川陽子氏

H28. ミニデイ支援者懇談会の開催 継続して毎年開催

各行政区のボランティア・支援者・区長が一同に会し開催

各行政区の開催内容・特徴工夫・課題の紹介

社協なかだ支所からのアドバイス

参加者の声 「行政区内で話し合っても何が問題点で、どこを改善しなければわからなかった。他の行政区の話聞くことでわかってきた。」

② ミニデイでのレクリエーション用具の購入貸出支援

懇談会の中でミニデイレク用具を社協で貸し出しているが好評な用具は貸出中だったり、借りに行くのが不便等の声があり、ふれあいセンターで常備貸し出すことに。

社協中田支所さんに協力を頂き、助成金事業に応募 助成金で用具を購入。

ロコモ先生 スカットボール・ビーンボウリング・コロコロサイコロ等を購入。

カラオケ機も貸出した。

6. ふれあいセンター入り口に血圧計を設置

来館者がいつでも血圧を測れるよう入口付近に設置

レク用具ミニデイで大好評!! みんなが笑顔に(●o●)

第1期5ヶ年 活動日数152日 延べ 2,468人が参加 内委員会20回 215名が参加

『一人暮らし対応部会』活動報告 (旧 第4部会)

目的 『孤独死・孤立等がない安心して住める地域を目指す』

内容	事業	計画 ○ 実施 ◎ 未実施 ×				
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
一人暮らし対応部会	④.高齢者が一人暮らしでも安心して住める事業					
	・独居・老々世帯の調査 見守り活動の実施把握	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎
安心して住める地域へ	・行政区長・実行組合長の巡視と記録把握	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎
	・話し相手・声かけ活動 行政区毎活動状況把握	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎
	・見守り・安否確認 行政区毎活動状況把握	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎
	・緊急時の連絡・通報カード全戸配布	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎
	・支え合い活動				○→	○→
	・家から出れない人(車送迎 月1回社会見学・買い物支援)		→◎	→◎	→◎	→◎
	・福祉車両の無料貸し出し	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎	○→◎
	・配食サービス			○→	○→	○→



福祉懇談会の様子

ミニデイ支援懇談会



小島区ミニデイ

玄関に血圧計を設置

地域別	全人口	65歳以上	高齢化
宮城県	2,323,149	576,141	24.8%
迫町	21,268	5,743	27.0%
南方町	8,855	2,493	28.2%
豊里町	6,831	1,931	28.3%
登米市	83,321	24,938	29.9%
中田町	15,923	4,530	28.4%
石越町	5,234	1,668	31.9%
米山町	9,709	3,097	31.9%
津山町	3,600	1,225	34.0%
登米町	5,035	1,781	35.4%
東和町	6,866	2,470	36.0%
浅水	2,480	907	36.6%

1. 浅水の現状

①高齢化の推移

地域	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年
登米市	28.30%	29.10%	29.90%	31.10%	32.00%
中田町	27.00%	27.70%	28.40%	30.16%	30.84%
浅水	31.80%	33.40%	35.00%	36.57%	38.61%

H28年、浅水の10年後を部会で推測

毎年高齢化率・人口減少率が**1.2%**で推移した場合 **予想を上回る現状！危機！！**

(1.2%＝過去5年の浅水地域の人口減少率の平均値)

後8年で**48.6%**(浅水の人口の半分)が**65歳以上**に！！

浅水の10年後	H28	H30	H32	H34	H36	H38
高齢化率	36.6%	39.0%	41.4%	43.8%	46.2%	48.6%
総人口の推移	2,480	2,421	2,364	2,308	2,253	2,200
高齢者数の推移	906	944	978	1,010	1,040	1,069

平成31年1月末の浅水の現状

総人口 **2,338人** / 65歳以上 **942人** / 高齢化率 **40.3%**

②独居世帯・老々・二人世帯数

行政区	浅水全体	川面	新小路	新田	小島	浅部	巻	沼畑	長谷	舟場
世帯数	702	112	107	108	94	74	46	73	44	44
独居	75	12	12	8	8	7	6	9	7	6
二人暮らし	120	9	21	17	17	17	7	17	9	6
独居・二人暮らし世帯割合	28%	19%	31%	23%	27%	32%	28%	36%	36%	27%

総世帯数の**28%**(約3割近く)が**独居・二人世帯**

2. 各行政区委員による独居・老々世帯と声掛け活動

実態調査の実施

①話し相手・声掛け活動が行われているか調査

・各行政区委員が各行政区実態調査し、見守り体制・声かけ運動の状況報告
年1回委員が聴き取り調査を行っている。

②見守り体制・安否確認

委員の発案で共通の調査票でデータ整備

調査データ (誰が見守っているか記載)

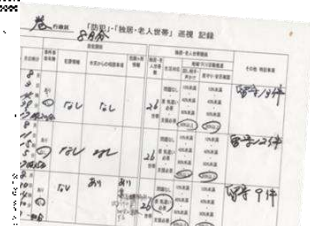
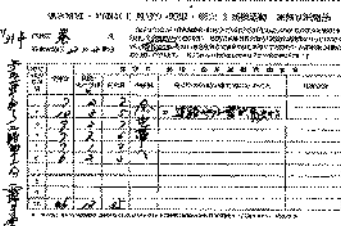
・誰が見守っているか(災害時の避難誘導も含む)明確にしておく。
・集落で意識づけを行い担当は決めず、できるだけ多くの人に気配りをお願いする。
・おせっかいと思う方もいるので見て見ないふりをする(さりげない見守り活動)等

③行政区長による巡回・記録報告

・月3回 登米市文書配布時に各行政区長が『防犯・安否確認』をチェックリストを基に実施し記録を残して報告してもらっている。

・H30年より各行政区の文書配布体制にあわせ、実行組合長、班長も確認結果が残せるよう巡回記録用紙の様式を変更。

支え合い活動・見守り活動においては共通するところが多いことから浅水郵便局さん 社会福祉協議会さんも地域づくり委員会に参加していただいた。



行政区長による巡回記録

実行組合長・班長も確認結果が残せるよう変更

3. 緊急時の連絡・通報カード全戸配布

平成26年度全戸配布以降、年1回備え付けの啓蒙を兼ねチラシを全戸配布し、家族構成や記載情報の変更があった方や新規に欲しい方に周知を行った。

平成29年 誰が見ても一目でわかるよう『緊急時

・連絡通報カード』の構成を見直し、全戸配布をおこないました。

4. 車イス利用高齢者家庭への福祉車両の貸出し・送迎対応

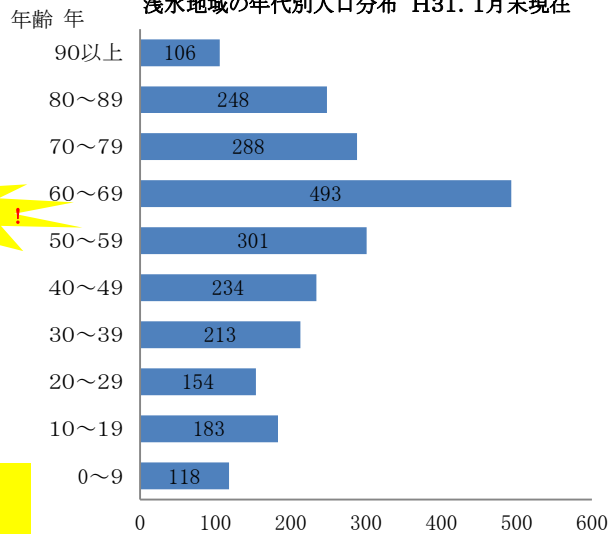
H27. ふれあいセンターの公用車を福祉車両に更新。

車イスでなければ移動できない家族を持つ方へ福祉車両の無償貸出しを開始。

年一回チラシにて福祉車両の貸出しサービスを周知。

家族構成・血液型・かかりつけの病院・常用薬・罹患している病名・緊急時の家族の連絡先が一目でわかるようレイアウトを変更。救命率の向上。

浅水地域の年代別人口分布 H31. 1月末現在



独居世帯・老々世帯等名簿						浅水地区	
						平成28年12月31日	
氏名	年齢	住所	性別	対象(主たる見守り人等)	緊急時連絡先	備考	
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20

地域の委員だから協力してもらえる。

老々世帯・二人世帯							
氏名	年齢	性別	住所	性別	対象(主たる見守り人等)	緊急時連絡先	備考
...
...

各行政区により見守り人は様々であるが、見守り人・離れて暮らす家族の連絡先等を明確化

緊急時・連絡通報カード

5. 家から出れない人への支援

老健なかださんから施設利用者の送迎に使っているワゴン車の空き時間を利用しての買い物ツアーを提案いただいた。
地域に周知を行った。

免許証返納者・交通弱者への支援

6. 配食サービス支援 (H28年度より)

- ・配食を行うことで高齢者の安否確認・健康にもつながる。また社協さんは3回/週、必要な人は毎日必要ではないかということで配食サービスを行なうこととした。
- ・すでに配食サービスに取り組んでいる社協さんに相談・アドバイスをもらった。
- ・配食する弁当は地元の企業(地元の食材を使った弁当仕出し)にお願いすることとし、打合せを行い、提携を結んだ。
- ・配食サービス実施に向け、利用者募集チラシの配布
- ・代金の回収はJAと打合せをし、仕組として決定した。
- ・チラシで利用募集をしたが申込みがなかったので、社協配食利用者 独居世帯・老々世帯等利用候補者に聞き取り調査を実施。



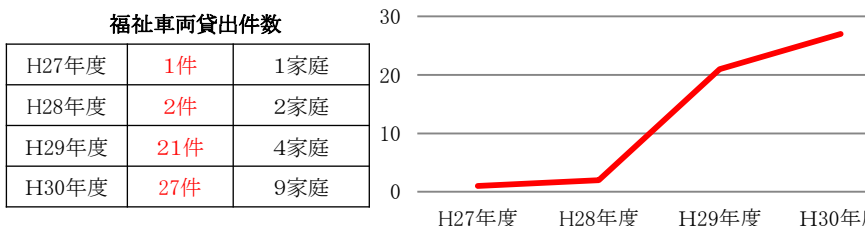
福祉車両貸出いたします
 浅水コミュニティ運営協議会
 地域づくり一人暮らし対応部会

浅水コミュニティ運営協議会 地域づくり一人暮らし対応部会では福祉車両の「貸出し」・車椅子の「貸出」を併せて行っております。家庭の遠征でくる車の乗りかた変更等、お悩みを抱えている方、是非ご利用下さい。

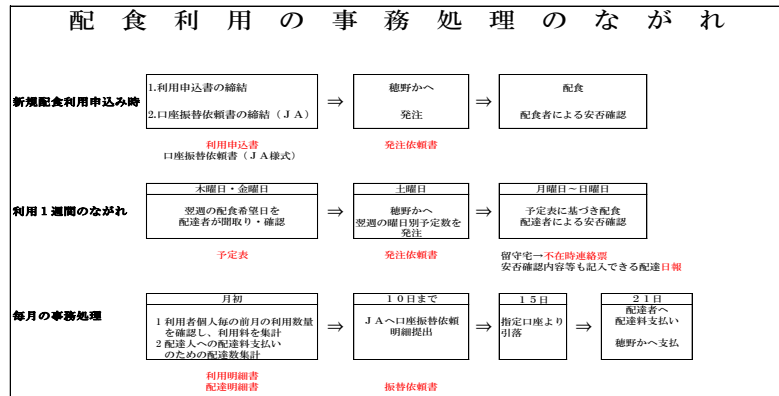


- 利用条件 (貸出し)**
 - ① 高齢者の高齢者 (65歳以上) とする。
 - ② 運転免許は20歳以上70歳未満の1人暮らしで1年以上。
 - ③ 1人で生活。
 - ④ 緊急時に備え、配食サービスを行います (10月より開始予定)。
 - ⑤ 緊急時に備え、配食サービスを行います (10月より開始予定)。
 - ⑥ 緊急時に備え、配食サービスを行います (10月より開始予定)。
- 利用条件 (車椅子貸出)**
 - ① 高齢者の高齢者 (65歳以上) とする。
 - ② 運転免許は20歳以上70歳未満の1人暮らしで1年以上。
 - ③ 1人で生活。
 - ④ 緊急時に備え、配食サービスを行います (10月より開始予定)。
 - ⑤ 緊急時に備え、配食サービスを行います (10月より開始予定)。
 - ⑥ 緊急時に備え、配食サービスを行います (10月より開始予定)。

利用が急増!
活動の成果



- ・申込みはなかったが、申込みがあった場合に備え事務処理の流れを整備した。
申込みから配達、利用料の精算まで一連の事務処理を整備。
配達してくれるボランティアも決まった。



※ 配食サービスについて訪問しご意見をいただきました。

※ 地域配食サービス開始時

開始順位	年齢	性別	配食利用についての意見
1	一人暮らし 72	男性	聞き取りでなく、配食サービスがほしいという意見が聞かれています。
2	一人暮らし 62	男性	毎週、毎週必要としているので毎日希望。でもなかなか配食がない。
3	一人暮らし 73	男性	毎週、毎週必要としているので毎日希望。でもなかなか配食がない。
4	一人暮らし 72	男性	毎週、毎週必要としているので毎日希望。でもなかなか配食がない。
5	一人暮らし 72	男性	毎週、毎週必要としているので毎日希望。でもなかなか配食がない。

※ 徳野・ゆき恵等 調査対象者2名 調査に際して頂いた徳野・ゆき恵等2名と1名 (65歳以上) 聞き取り結果

開始順位	年齢	性別	配食利用についての意見
6	一人暮らし 71	男性	以前はあったが、最近ではなくなりました。
7	一人暮らし 72	男性	毎週、毎週必要としているので毎日希望。でもなかなか配食がない。
8	二人暮らし 67	男性	毎週、毎週必要としているので毎日希望。でもなかなか配食がない。
9	一人暮らし 62	男性	毎週、毎週必要としているので毎日希望。でもなかなか配食がない。
10	二人暮らし 72	男性	毎週、毎週必要としているので毎日希望。でもなかなか配食がない。
11	二人暮らし 72	男性	毎週、毎週必要としているので毎日希望。でもなかなか配食がない。
12	一人暮らし 72	男性	毎週、毎週必要としているので毎日希望。でもなかなか配食がない。
13	二人暮らし 64	男性	毎週、毎週必要としているので毎日希望。でもなかなか配食がない。
14	二人暮らし 62	男性	毎週、毎週必要としているので毎日希望。でもなかなか配食がない。
15	二人暮らし 62	男性	毎週、毎週必要としているので毎日希望。でもなかなか配食がない。
16	二人暮らし 62	男性	毎週、毎週必要としているので毎日希望。でもなかなか配食がない。
17	一人暮らし 72	男性	毎週、毎週必要としているので毎日希望。でもなかなか配食がない。

お申し込みは浅水ふれあいセンターまたは行政課まで

浅水ふれあいセンター 福祉サービス利用申込書

浅水ふれあいセンター 福祉サービス利用申込書

・聞き取り調査で今後確実に必要とされることを実感!

17件中8件(47%)で自炊できなくなったら必要と回答

課題
 今後ますます高齢化が進む中で独居・老々世帯が増えていくのは確実であります。地域で暮らし続けるためには支え合い、助け合いが必須であり、そのためには住民台帳の整備が必要であると思われます。にもかかわらず個人情報の間違った解釈の一人歩きにより、思うようには進まないのが現実です。これからも地域の皆さんのご理解とご協力をお願い致します。

第1期5ヶ年 活動日数214日
 延べ1,879人が参加
 内委員会18回 273名が参加

『活動報告会』の実施 1回/年度 参考例

平成31年3月9日 地域づくり活動報告・地域づくり計画Ⅱ説明会・研修会の開催

1. 開会

2. 開会のあいさつ 浅水コミュニティ運営協議会 会長 羽生 進

3. 来賓紹介

4. 研修

講演 『横手市のまちづくり活動の取組と成果』

講師 横手市まちづくり推進部 増田地域課専門員 佐藤 豊 氏

質疑応答

5. 浅水コミュニティ運営協議会 地域づくり第1期5ヶ年計画活動報告

集う・環境整備部会 部会長 伊藤 政則

人口減少対応部会 部会長 渡邊 寿昭

健康長寿部会 部会長 佐藤 勤

一人暮らし対応部会 部会長 二階堂 敏雄

6. 浅水コミュニティ運営協議会 地域づくり第2期5ヶ年計画説明

浅水ふれあいセンター センター長 及川 豊二

7. 講評

登米市企画部市民協働課 係長 佐々木 俊樹 氏

8. 閉会のあいさつ

浅水コミュニティ運営協議会 副会長 小野寺 久

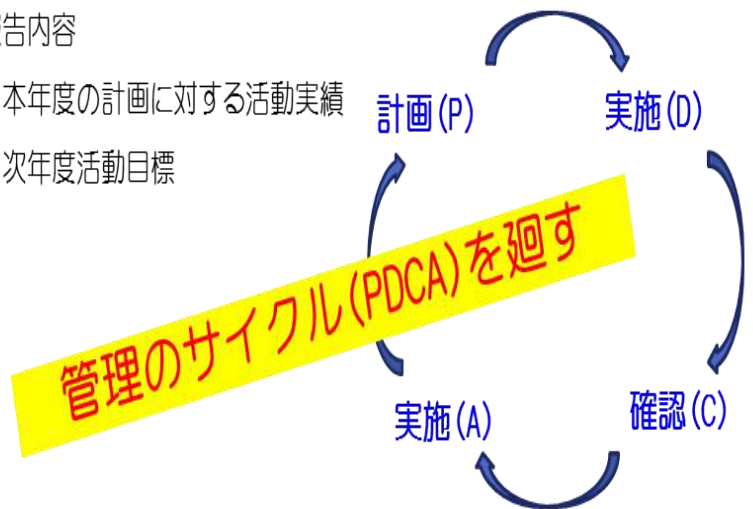


・各部会の活動報告をアドバイザー・他の部会メンバーの前で発表

報告内容

本年度の計画に対する活動実績

次年度活動目標



平成26年度	部会名	部会長	副部会長	委 員							
	集う環境整備	大内直人	菅原道憲	伊藤政則	小野寺圭一	小野寺義則					
	人口減少対応	渡邊寿昭	佐藤武彦	高橋敏允	千葉浩	三浦啓禎	小野寺久	和泉孝志	須藤幸治	大山高毅	渡辺昭吾
	健康長寿	山内正興	橋紀夫	小野寺静夫	羽生博行	千葉治	芳賀久子	佐藤勤	及川八重子		
	一人暮らし対応	小野史郎	小野寺則男	千葉昌利	三浦健夫	佐々木悦子	二階堂敏雄	羽生進	伊藤康正	猪又美智子	目黒久夫
事務局	及川豊二	小野寺功子	須藤恵子								

活動して頂いた委員

平成27年度～ 平成28年度	部会名	部会長	副部会長	委 員							
	集う環境整備	伊藤政則	小野寺圭一	大内直人	菅原道憲	千葉昌利	小野寺義則	千葉優			
	人口減少対応	渡邊寿昭	佐藤武彦	高橋敏允	小野寺久	三浦啓禎	和泉孝志	須藤幸治	大山高毅	渡辺昭吾	
	健康長寿	佐藤勤	須藤二二夫	橋紀夫	小野寺丈治	羽生博行	千葉治	芳賀久子	及川八重子		
	一人暮らし対応	二階堂敏雄	伊藤康正	小野史郎	羽生進	三浦健夫	岩淵美則	佐々木悦子	猪又美智子	目黒久夫	
事務局	及川豊二	沼倉裕幸	小野寺功子	須藤恵子							

平成29年度～ 平成30年度	部会名	部会長	副部会長	委 員							
	集う環境整備	伊藤政則	小野寺圭一	安倍良三	平井利寿	千葉昌利	小野寺義則	千葉優			
	人口減少対応	渡邊寿昭	佐藤武彦	須藤昌美	小野寺久	三浦啓禎	和泉孝志	須藤幸治	大山高毅	渡辺昭吾	
	健康長寿	佐藤勤	佐々木恭平	橋紀夫	小野寺丈治	羽生博行	千葉治	芳賀久子	及川八重子		
	一人暮らし対応	二階堂敏雄	伊藤康正	千葉祐孝	羽生進	三浦健夫	岩淵美則	佐々木悦子	目黒久夫		
平成29年度 事務局	及川豊二	沼倉裕幸	小野寺功子	須藤恵子							
平成30年度 事務局	及川豊二	沼倉裕幸	橋亜季	菅原由香理	主担当						

活動した委員の方々です。

地域づくり計画 I 活動実績

単位×日

	部会名	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動日数	集う環境整備	36	100	124	174	72
	人口減少対応	11	24	31	21	10
	健康長寿	22	52	27	29	22
	一人暮らし対応	16	14	53	64	67
	計	85	190	235	288	171

活動実績(日数・人員)

単位×人

	部会名	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動人数	集う環境整備	328	799	1,242	2,238	1,069
	人口減少対応	184	126	298	218	74
	健康長寿	424	853	504	475	212
	一人暮らし対応	378	62	527	438	538
	計	1,314	1,840	2,571	3,369	1,893

活動に参加した日数と人数です。

第4章 浅水『地域づくり計画 II』 委員と活動期間

地域づくり計画策定を行いました。現在想定したものと年月が経過することで環境が変わっていくことが懸念されます。これらの変化する課題に対応して地域でやれることを行います。行政区から選出頂きました委員により、地域づくり活動は年3回程度といたします。

委員の選出について

	部会長	副部会長	川面区	新小路区	新田区	小島区
集う環境整備部会						
人口減少対応部会						
健康長寿部会						
生活支援部会						

	浅部区	巻区	沼畑区	長谷区	舟場区
集う環境整備部会					
人口減少対応部会					
健康長寿部会					
生活支援部会					

事務局	センター長	集落支援員	事務員	
	及川豊二	菅原由香理	沼倉裕幸	橘 亜季

選出条件

- ①.各 行政区 区長×1名 民生児童委員×1名 委員×2名以上(民生児童委員不在の行政区は1名プラス) 合計4以上名
- ②.行政区の委員は総会での選任となることから早めに選出をお願いします。
- ③.任期は5年としますが、区長や民生児童委員等途中で変更が発生した場合は後任の方に引き継ぐことと致します。

『浅水地域づくり計画 II』 活動期間

平成31年度～平成35年度（5年間）

第2次 地域づくり計画

●第2次 地域づくり計画 ポイント(変化点)

・地域づくり開始に向けて、10年後を目標に住民アンケートを基に計画していることから、活動は**継続で行う事**としました。

※ **環境の変化等を考慮し見直しする事項**

①生活支援部会を新設 (旧 一人暮らし対応部会)

委員は基本として『**民生児童委員**』とする。

・2行政区で1名の『**民生児童委員**』の所は、居ない行政区は行政区長に任命して頂く。

・『**民生児童委員**』と『**行政区長**』の**情報交換が重要**。

理由 専門の知識・経験を活かして地域の生活支援を進めて頂く。

委員活動を地域活動としてレベルを合わせる。(地域格差是正)

委員の居ない行政区が支援から外れない様にする。

②免許返納等の対応策として、高齢者の**有償移動サービス**(デマンドタクシー)を実施 登米市が行う、事業を導入し平成32年度事業化スタートを目指します。

③**イノシシ等獣害対策**や**コミュニティスクール対応**を新設する。



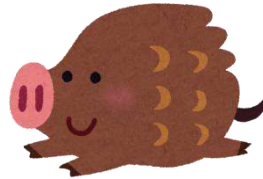
10年後の課題アンケート・ワークショップから地域で取り組む事項

No	項 目	地域で取り組む
1	少子高齢化による人口減少(若者がいなくなり、老人だけになる)	○
2	若い人の働く場が無い	
3	農家を継ぐ人が少なくなり、農地が荒れる	○
4	病院が縮小等で無くなる	
5	独居老人が多くなる	○
6	暮らしにゆとりが無くなる	
7	空き家が多くなる、地域の環境荒れる	○
8	結婚する若者が少ない	○
9	小学校が無くなるのでは	
10	交通が心配(車の運転が出来なくなるのとバスが無くなる)	○
11	少子化により、各行事のまとまりが無くなる	○
12	先祖伝来の家・農地・墓地を継いでくれる人がいない	○

・集う環境整備部会

目的 人口減少・少子高齢化等で地域環境が大きく変わっていきますが、そうした中でも集い楽しめる環境整備を行い、地域の活性化を行い安心して暮せる元氣なふるさとをつくる。

- ①『手打そば ゆづるの里』の営業を開始して、コミュニティビジネスを継続します。
地域の活性化を目的に活動を継続し活動を行います。
- ②サイクルセンターを活用して『集いの場 あけぼの』の活用を行い、高齢者の集いの場による地域活性化を行います。
- ③ふれあいセンター周辺の環境整備は**駐車場のまわりにキバナコスモス花壇等**での環境美化を継続致します。
- ④**農村公園の活用**はグランドゴルフ利用向上に向けて維持管理を行います。
- ⑤健康づくりを目的に**ノルディックウォーキング普及活動**は継続して行います。
- ⑥**老人会支援**により、老人会活動の活性化と、
全行政区組織化を目指して活動します。
- ⑦イノシシ等の**農作物獣害対策**を行います。



委員での事業	内容	事業 2nd	type					計画・実行年度				
			健康長寿	集う環境	人口減少	生活支援	地域活性化	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
集う環境整備部会	人が集い楽しめる環境整備された地域へ	・「ふれあい広場」活用 吊るし雛/絵手紙展(空き施設活用)等	○	○			○	○	○	○	○	new
		手打そば ゆづるの里 コミュニティビジネス (空き施設活用)	○	○			○	○	○	○	○	
		グランドゴルフ場の活用 (農村公園活用)	○	○			○	○	○	○	○	
		・地域ぐるみの環境整備 北上川堤防/背高泡立草壊滅		○				○	○	○	○	
		・ふれあいセンター周辺の環境整備活動 農村公園/周辺	○	○			○	○	○	○	○	
		・ノルディックウォーク健康推進 (サイクルロード活用)	○	○			○	○	○	○	○	
		・老人会への支援 事業支援・助成金申請業務	○			○	○	○	○	○	○	
・イノシシ等の農作物獣害対策		○	○	○	○				○	○	new	

委員

部会長	副部会長	川面区	新小路区	新田区	小島区



浅部区	巻区	沼畑区	長谷区	舟場区

・人口減少対応部会

目的 人口・世帯が減少すると空き家がふえ、地域が荒廃し、更なる人口流出につながることから、放置された空き家を無くし、安心して暮せる元気なふるさつをつくる。

①**1人2人世帯の意識調査**は『放置された空き家を出さない意識を持って頂く』ことを目標に活動を行います。

・**司法書士の相続基本講座と相談会**を行います。

②**空き家の実態調査**は毎年1回開催し、管理している人に伝わるチラシを配布したり、行政区内の空き家の適正化対応を行います。

③**ホームページの更新管理**は事務局で継続して行います。

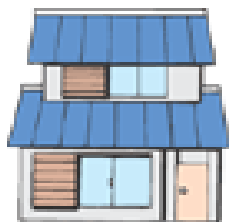
④**婚活活動**は地域づくりで住民の要望で計画されましたが難しい課題で検討をしたが具体策が無く、市民活動プラザやNPO婚活支援情報を地域・行政区へ紹介していきます。



委員での事業		type					計画・実行年度				
内容	事業 2nd	健康 長寿	集う 環境	人口 減少	生活 支援	地域 活性化	平成 31年 度	平成 32年 度	平成 33年 度	平成 34年 度	平成 35年 度
人口減少対応部会 生活環境荒廃防止と地域 活性化	・独居・老々世帯の意識調査と空き家の調査			○	○	○	○	○	○	○	○
	行政区単位調査活動			○	○	○	○	○	○	○	○
	意識調査と対応策 空き家を増やさない・住む人紹介		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・空き家の管理と適正化支援		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	相続講座・相談会の開催		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・ホームページの活用継続 (浅水の良さをPR・空き家の紹介)		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・婚活対応 支援対応			○		○	○	○	○	○	○

委員

部会長	副部会長	川面区	新小路区	新田区	小島区



浅部区	巻区	沼畑区	長谷区	舟場区

・健康長寿部会

目的 長生きできる時代になって来ましたが、長生きしても、寝たきりでは生きていく意味がない、健康で長生きの地域を目指した活動を行い、安心して暮らせる元気なふるさつをつくる。

①健康長寿講座は毎年3回以上おこなうこととし、楽しく学べる工夫をすることとします。

長生きしても、寝たきりでない人生をおくれることを目標に、老健なかだや登米市中田総合支所や社会福祉協議会等より、健康講座や減塩料理講習等内容を見直しながら継続。

②仕事の地域優先あっせんの継続を行い、地域の就労改善を行います。

③若者への健康(働き盛り健康講座)対応は登米市市民課と毎年実施します。

④健康長寿ポイント周知活動はふれあいセンターだよりで継続します。

⑤ミニディへの支援は行政区で事業の内容等悩みながら行っていることから各行政区の課題や他の良い所を持ち寄り、より良い活動へ繋げることを目的に情報交換会を継続します。

又 **用具の貸出対応**を行っております。



委員での事業		type					計画・実行年度				
内容	事業 2nd	健康長寿	集う環境	人口減少	生活支援	地域活性化	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
健康長寿部会 健康長寿(寝たきりにならず長生き)対応・地域企業とのWin・Winな関係へ	・健康づくり講座開催 3回/年	○		○	○		○	○	○	○	○
	・若者への健康対応講座開催 1回/年	○		○			○	○	○	○	○
	・仕事の地域優先であっせん 随時 なかだ老健との連携				○	○	○	○	○	○	○
	・ミニディ支援 用具・ボランティア支援	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	・ふれセンだよりでの健康長寿ポイント情報提供	○					○	○	○	○	○

委員

部会長	副部会長	川面区	新小路区	新田区	小島区



浅部区	巻区	沼畑区	長谷区	舟場区

生活支援部会

目的 高齢者・子育て等で困っている方に対して、生活支援活動を行い、安心して暮せる元気なふるさとをつくる。

- ①生活支援は民生・児童委員、行政区長と連携して生活支援の対応を行う。
- ②行政区・地域活動の推進話し相手・声かけ、見守り・安否確認活動を地域全体活動として、実施されているかを把握して対応します。
・行政区長やJA実行組合長が世帯を回るときに確認をして記録に残します。
- ③独居・老々世帯の意識調査で生活支援の把握と対応を行います。
- ④福祉車両貸出・緊急時連絡通報カード配布を行います。
- ⑤高齢者の外出支援は、高齢者の免許証返納等で、病院・買い物・農協に行きたい方を対象として、デマンド型乗合タクシー導入を行います。
- ⑥コミュニティスクール活動支援を行います。
- ⑦子育て支援を行います。



委員での事業		type					計画・実行年度				
内 容	事 業 2nd	健康 長寿	集う 環境	人口 減少	生活 支援	地域 活性化	平成 31年 度	平成 32年 度	平成 33年 度	平成 34年 度	平成 35年 度
生活支援部会 1人暮らし・老々世帯や子育て世代でも安心して生活できる地域へ	・民生・児童委員、行政区長との連携活動へ(独居・老々世帯)			○	○	○	○	○	○	○	new
	・独居・老々世帯の意識調査と空き家調査			○	○	○	○	○	○	○	
	行政区単位調査活動 (独居世帯・空き家)			○	○	○	○	○	○	○	
	・話し相手・声かけ・見守り・安否確認活動の把握と推進	○		○	○		○	○	○	○	
	・生活支援対応 (ゴミ出し・買い物代行・外出支援)	○		○	○					○	new
	・緊急時の連絡・通報カード全戸配布	○			○		○	○	○	○	
	・福祉車両の無料貸し出し			○	○		○	○	○	○	
	・デマンドタクシー対応(移動サービス)	○			○			○	○	○	new
	・コミュニティスクール推進対応 子どもの安全				○	○		○	○	○	new
・子育て支援対応(幼児対象で若いママ・おばあちゃん)				○	○			○	○	new	

委員 (民生児童委員)

部会長	副部会長	川面区	新小路区	新田区	小島区

見守り



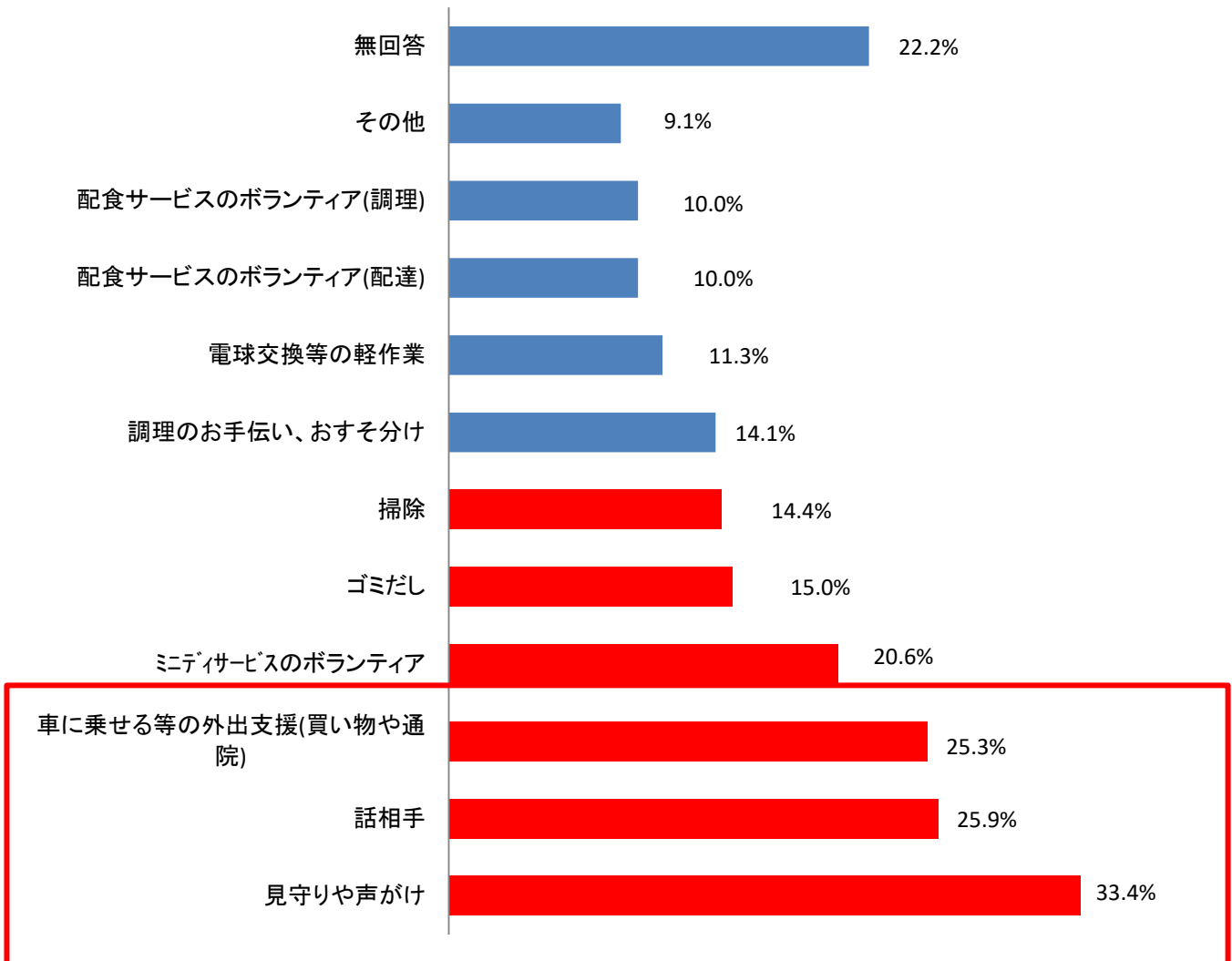
浅部区	巻区	沼畑区	長谷区	舟場区



・生活支援部会 2/2

今後在宅で利用したいと感じるサービス・取り組み 登米市全体としては『外出支援(買い物や通院)』が37.7%と最も多い在宅で利用したいと感じるサービス・取り組みを全域で見ると、『外出支援(買い物や通院)』(37.7%)が最も多く、次いで『見守りや声かけ』(25.7%)、『緊急通報システム』(24.1%)『掃除支援』(23.3%)、『話し相手』(22.4%)の順になっています。圏域別においても概ね同様の傾向となっています。

中田・石越『H29.3登米市福祉事務所长寿介護課調査データ』(n=320)

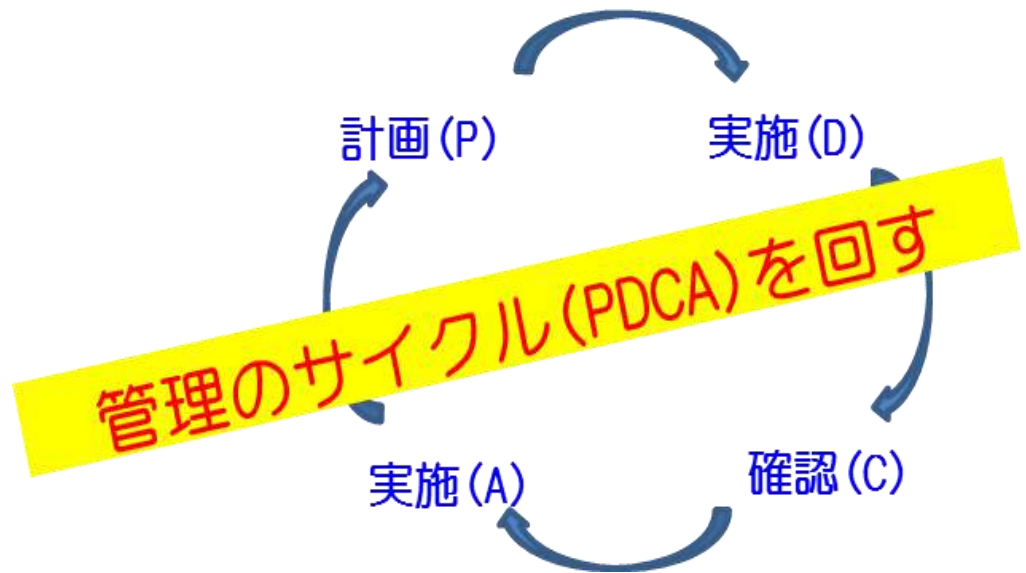


生活支援は上記データをもとに地域として外出支援の仕組みと体制を作り運用を行う。 目標 平成32年～ 実施

高齢者でも支援する側で活動することで、生きがいと、健康づくりへの効果の期待と、何れ支えられる側になった時に支援を頂くことを意識して活動を行う事にします。

区分	内容	事業 2nd	type					計画・実行年度				
			健康 長寿	集う 環境	人口 減少	生活 支援	地域 活性化	平成 31年 度	平成 32年 度	平成 33年 度	平成 34年 度	平成 35年 度
	地域づくりプロジェクト継続対応 PDCA											
	活動の活性化と継続	・活動報告会 年1回 計画VS活動進捗と課題・次年度計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
生涯学習	地域活性化・コミュニティづくり(地域連帯感を高める)	ふれあい運動会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ふれあい夏まつり	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		コミュニティまつり	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		こいのぼり掲揚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小学校への奉仕作業(六十寿会と児童)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	安心・安全な地域へ	地域自主防災連絡協議会事業推進 年1回開催	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		地域防犯パトロール事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		・行政区長・JA実行組合長による全戸パトロール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

管理のサイクル(P・D・C・A)を回す



やること

活動報告会の実施

- ・年度末に活動報告と来年度活動計画を各部会毎に発表
- ・活動報告会で地域づくり研修会を行う
- ・その他

『地域づくり計画 第Ⅱ期』5ヶ年計画

計画 ○
実施 ◎ 未実施×

委員での事業

区分	内容	事業 2nd	type					計画・実行年度					
			健康 長寿	集う 環境	人口 減少	生活 支援	地域 活性化	平成 31年 度	平成 32年 度	平成 33年 度	平成 34年 度	平成 35年 度	
地域づくり	集う環境整備部会 人が集い楽しめる環境整備された地域へ	・「ふれあい広場」活用 吊るし雛/絵手紙展(空き施設活用)等	○	○			○	○	○	○	○	○	new
		手打そば ゆづるの里 コミュニティビル(空き施設活用)	○	○			○	○	○	○	○	○	
		グラウンドゴルフ場の活用 (農村公園活用)	○	○			○	○	○	○	○	○	
		・地域ぐるみの環境整備 北上川堤防/背高泡立草環滅		○				○	○	○	○	○	
		・ふれセン周辺の環境整備活動 農村公園/周辺	○	○			○	○	○	○	○	○	
		・ルディクウォー健康推進 (サイクルロード活用)	○	○			○	○	○	○	○	○	
		・老人会への支援 事業支援・助成金申請業務	○				○	○	○	○	○	○	
	・イノシシ等の農作物獣害対策		○	○	○	○					○	new	
	人口減少対応部会 生活環境荒廃防止と地域活性化	・独居・老々世帯の意識調査と空き家の調査			○	○	○	○	○	○	○	○	
		行政区単位調査活動			○	○	○	○	○	○	○	○	
		意識調査と対応策 空家を増やさない・住む人紹介			○	○	○	○	○	○	○	○	
		・空家の管理と適正化支援			○	○	○	○	○	○	○	○	
		相続講座・相談会の開催			○	○	○	○	○	○	○	○	
		・ホームページの活用継続 (浅水の良さをPR・空家の紹介)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		・婚活対応 支援対応			○		○	○	○	○	○	○	
	健康長寿部会 健康長寿(寝たきりにならず長生き)対応・地域企業とのWin-Winな関係へ	・健康づくり講座開催 2回/年			○	○		○	○	○	○	○	
		・若者への健康対応講座開催 1回/年			○			○	○	○	○	○	
		・仕事の地域優先でありません 随時 なかだ老健との連携					○	○	○	○	○	○	
		・ミニディ支援 用具・ボランティア支援	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
		・ふれセンだよりでの健康長寿ポイント情報提供	○					○	○	○	○	○	
	生活支援部会 1人暮らし・老々世帯や子育て世代でも安心して生活できる地域へ	・民生・児童委員、行政区長との連携活動へ(独居・老々世帯)			○	○	○	○	○	○	○	○	new
・独居・老々世帯の意識調査と空き家調査				○	○	○	○	○	○	○	○		
行政区単位調査活動 (独居世帯・空き家)				○	○	○	○	○	○	○	○		
・話し相手・声かけ・見守り・安否確認活動の把握と推進		○		○	○		○	○	○	○	○		
・生活支援対応 (ゴミ出し・買い物代行・外出支援)		○		○	○					○	○	new	
・緊急時の連絡・通報カード全戸配布		○			○		○	○	○	○	○		
・福祉車両の無料貸し出し				○	○		○	○	○	○	○		
・デマンドタクシー対応(移動サービス)		○			○				○	○	○	new	
・コミュニティスクール推進対応 子どもの安全					○	○			○	○	○	new	
・子育て支援対応(幼児対象で若いママ・おばあちゃん)				○	○				○	○	new		
地域づくりプロジェクト継続対応 PDCA						○	○	○	○	○			
活動の活性化と継続	・活動報告会 年1回 計画VS活動進捗と課題・次年度計画			○	○	○	○	○	○	○	○		
生涯学習	地域活性化・コミュニティづくり(地域連帯感を高める)	ふれあい運動会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ふれあい夏まつり	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		コミュニティまつり	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		こいのぼり掲揚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		小学校への奉仕作業(六十寿会と児童)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	安心・安全な地域へ	地域自主防災連絡協議会事業推進 年1回開催	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		地域防犯パトロール事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		・行政区長・JA実行組合長による全戸パトロール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

地域連帯感を高める事業 & 生涯学習事業



奉仕作業 六十寿会・小学校児童と



こいのぼり掲揚



自然体験交流(冬) 登米市では体験できない雪を求めて！秋田県横手市増田町へ
漫画ロード 矢口孝雄(釣りキチ三平)と石ノ森章太郎(仮面ライダー)の繋がり



自然体験交流(夏) 横手市では体験できない北上川のボート体験！ 登米市中田町へ
漫画ロード 矢口孝雄(釣りキチ三平)と石ノ森章太郎(仮面ライダー)の繋がり



子育て教室(出前講座)



子どもクッキング教室



文化財保存会 探訪



男の料理教室



絵手紙教室



そば打体験・出前講座



女性講座



六十寿会 移動研修



コミュニティ移動研修



女性部・交通安全母の会移動研修



地区(ケリラ豪雨浸水想定・避難場所)防災マップを全戸配布！ 自主防災連絡協議会事業



奉仕作業(農村公園・センター周辺)



地元プロ職人による 障子貼り教室



親子ふれあい教室



光明寺との災害時に避難所として活用の契約締結式



避難所案内表示板を設置

社会体育事業



ふるさとスポーツ大会(バレーボール・ソフトボール)



ソフトテニス大会(ナイター)雨天時は卓球大会



ターゲットバード・ゴルフ大会(ナイター)



シニアスポーツ大会(グランドゴルフ・ペタンク)



グランドゴルフ大会(ナイター)



冬季スポーツユニカール大会・卓球大会(ニュースポーツ)



地域づくり計画策定については、平成25年度に、これから10年先の地域課題・地域の困るであろう事に対して、地域で出来る事を事業活動計画として活動してきました。今回5年経過して、これまでの活動成果を確認したところ、各部会とも計画以上の活動を行ない、大きな成果を出して頂きました。地域を思う地域づくり委員皆様の活動に対し、あらためて感謝いたします。

今回、今後の5ヶ年計画策定を検討した結果、生活支援が時代の変化から必要なことが判明しました。これにより、部会名称を一部変更し対応する事としました。今後は、この『浅水 地域づくり計画Ⅱ』に基づき、浅水地域の皆様や、行政・関係諸機関のご指導、ご協力のもとに、取り組みを行い、浅水地域の人々が実感できる活動に期待します。

浅水地域の特徴である「北上川のほとり・文化財が多い・献上米の里・三陸自動車道登米ICがある・人柄の良い」を生かし、更に、なによりも全国に誇れる「モデルコミュニティ活動」を40年以上経過しても、活発に継続している地域力があります。

この地域力により、『安心して暮らせる 元気なふるさとづくり！』を実現いたします。

ここに『浅水 地域づくり計画Ⅱ 策定』にあたり、ご協力いただきました地域の皆様、ご指導いただきました企画部市民協働課・とめ市民活動プラザ・登米市中田総合支所市民課・先進地新潟県柏崎市・老健なかだ・社会福祉協議会等の皆様のおかげで、このような計画が出来ましたことに、厚くお礼を申し上げます。最後に、地域づくり委員のご苦勞に対して、厚くお礼を申し上げ「まとめ」といたします。



平成30年10月 浅水コミュニティ運営協議会 会長 羽生 進



自治大臣表彰(昭和52年)



宮城県知事表彰(昭和52年)

地域づくり計画策定 事務局(企画・推進)

浅水ふれあいセンター センター長 及川 豊二



三陸自動車道 上り車線・登米IC方面



浅水の良さ
献上米の里(美味しいお米)
文化財・民族芸能が多く今も伝承
川・山・田んぼ 自然環境が良い
人柄が良い地域
写真は秋の浅水(小学校・ふれあいセンター・田・集落)



浅水小学校付近から長谷山を望む